第9回

通常総会議案

第	1	号詞	義:	案	平	成	2	0	年	度-	事	業:	報	告		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	1
第	2	号詞	義:	案	平	成	2	0	年	度	収	支	決	算	報	告		•		•													8
					平	成	2	0	年	度!	監	査	報	告		•	•	•	•	•		•	•		•		•	•	•	•	•		16
第	3	号詞	義:	案	平	成	2	1	年	度	次	期:	会	長	• ;	副	会	長		監	事	選	学	紀	誄	! 幸	日台	늨					17
第	4	号詞	義:	案	平	成	2	1	年	度 ^ź	役	員(の ;	選	任												•						18
第	5	号詞	義:	案	平	成	2	1	年	度 ^ź	役	員	候	補	推	薦	委	員	会	委	員	<u></u>	選	任	_								19
第	6	号詞	義:	案	平	成	2	1	年	度	選	挙'	管:	理	委	員	会	委	員	の	選	任	•				•						20
第	7	号詞	義:	案	日	本	地	震	エ	学:	会	規!	則(のi	改	定											•						29
第	8	号詞	義:	案	平	成	2	1	年	度	事	業	計i	画													•						21
第	9	号詞	義:	案	平	成	2	1	年	度	収	支-	予:	算			•	•		•		•	•	•	•	•	•	•		•			25
資	料	1		平成	້, 2	0	年	度	事	業:	報	告																					35
資	料	2	;	将来	针	画	検	討	委	員:	会:	報 <i>-</i>	告			•	•	•	•	•	•	•	•	•			•	•	•	•	•	別	l IIII
資	料	3	:	平成	τ, 2	0	年	度	組	織	义											-					•						73
資	料	4		平成	τ, 2	0	年	度	役	員(の:	分	掌									•											74
資	料	5		平成	t 2	0	年	度	委	員:	会:	委	員:	名:	簿																		75



平成21年5月21日(木) 於:建築会館ホール

日本地震工学会

東京都港区芝 5-26-20 建築会館内 TEL: 03-5730-2831 FAX: 03-5730-2830

第1号議案 平成20年度事業報告

「日本地震工学会(JAEE)」は、地震工学および地震防災に関する学術・技術の進歩発展をはかり、もって地震災害の軽減に貢献することを目的として、平成13年(2001年)1月1日に、東京都港区芝5丁目26番20号に事務所をおいて設立された。

平成 21 年 3 月 31 日の時点における会員数は、名誉会員 16 名、正会員 1,187 名、学生会員 72 名、法人会員 95 団体であった。平成 20 年 4 月から平成 21 年 3 月に至る平成 20 年度の本会の事業の概要は以下のとおりである。なお、事業活動の詳細は「平成 20 年度事業報告書」として資料 1 に添付している。特に、将来計画検討委員会を設置し、本会の活動の現状分析と将来計画を検討した。将来計画検討委員会の報告書を資料 2 に添付する。また、平成 20 年度の組織図を資料 3、役員分掌を資料 4、各委員会の委員名簿を資料 5 に示す。

1. 第8回通常総会の開催

第8回通常総会を平成20年5月22日(木)15:30~17:00に建築会館ホールにて、講演会(「我が国の電力安定供給と地震防災」と題する講演3題ならびに論文奨励賞受賞者講演)に続いて行った。定足数430名に対して委任状出席を含む出席者は640名であった。

北川良和会長が議長となり、平成 19 年度事業報告(石川理事)、収支決算報告(小林理事)、監査報告(亀田監事)がなされ、承認された。続いて、平成 19 年度役員選挙により、次期会長に濱田政則氏、副会長に武村雅之氏と吉田望氏、監事に高田至郎氏が当選したことが報告され、選任された。

ここで議長を平成 20 年度会長の鈴木浩平氏に交代した。会長が指名した 8 名の新任理事が選任された。次に、役員候補推薦委員会が選んだ新任委員 9 名が選任された。続いて、新会長が正会員の中から指名した 2 名が選挙管理委員に選任されたほか、理事の中から 2 名が選挙管理委員として指名された。引き続き、平成 20 年度事業計画(勝俣理事)、収支予算案(鈴木理事)が説明され、承認された。

再び議長を平成19年度会長の北川良和氏に交代し、理事会議決に基づき、青山博之氏、石原研而氏、和泉正哲氏、太田裕氏、岡田恒男氏、志賀敏男氏、柴田明徳氏、柴田拓二氏、伯野元彦氏の9名が名誉会員に推挙され、承認された。北川会長より総会に出席した7名の名誉会員に推挙状授与が行われ(司会野畑理事)、名誉会員各氏より挨拶が行われた。

最後に、鈴木新会長より、初めての機械系出身の会長であり、地震工学の主流とはいえないが、これまでの視点を変えて新しい横断的取り組みを進めていきたい、特に原子力発電所に代表されるシステムの耐震問題が大きな課題であ

り、原子力学会や機械学会など多くの学会と共同で検討を進めていくことが必要である、との挨拶があった。

2. 理事会活動

日本地震工学会の活動を審議するために理事会を 9 回開催した。事務的事項の報告、入退会者の承認、他学協会からの共催・後援等依頼の承認、および他の議案の審議・議決を行い、さらに本学会の運営方針について懇談した。なお、理事会の開催日および主な議事は資料 1 の事業報告書に記載している。

平成20年度における主な課題への取組みは次のとおりである。

- 1) 副会長の分掌を明確にするとともに(資料4)、理事会前に会長・副会長会議を開催することにより理事会の円滑な運営に努めた。
- 2) 設立 10 年の節目を迎えること、および公益法人格の取得を目指すことを踏まえて、本会のこれまでの活動を振り返り、今後の活動方針を明確にするため、平成 20 年 10 月より将来計画検討委員会を発足させた。この委員会の活動報告は資料 2 に添付している。
- 3) 緊急時のメーリングリスト・携帯電話網を整備し、地震災害時対応規程を 改定した。関連して、海外および国内の地震災害調査活動を支援するため に地震災害調査基金を取り崩し、活用した。
- 4) 平成 24 年に開催予定の第 15 回世界地震工学会議(15WCEE) を日本に招致するか否かを検討した。この結果、日本地震工学会の組織・体制の現状を考慮して今回は見送ることとした。平成 28 年に開催予定の第 16 回世界地震工学会議の招致を含めて今後の中長期的な国際交流活動について検討を継続することとした。
- 5) IAEE (国際地震工学会)事務局に対して援助を継続した。IAEE 日本代表が小谷俊介氏(本会第6代会長)から交代するため、検討の結果、川島一彦氏(本会元副会長)を新代表としてIAEE事務局に登録した。また、IAEE事務局長交代(家村浩和氏:本会前副会長→芳村学氏:本会理事)にともない、今後の支援活動について検討した。14WCEEに対して開発途上国参加者に対する旅費を支援するため、会員から寄付を募るとともに、本会から支援金を支出した(詳細は5(3)参照)。
- 6) 平成 20 年 10 月に開催の第 14 回世界地震工学会議(14WCEE)において Special Theme Session として 3 セッションを組織するとともに、展示ブース にてこの 3 セッションの概要をポスターにて紹介した。また、本会の英文 パンフレットを新たに制作し、14WCEE 会場にて配布し、本会を国際的に PR した。
- 7) 平成22年開催予定の第13回日本地震工学シンポジウム(13JEES)の開催に向けて、本会が幹事学会となることから、関連学会に共催を呼びかけるとともに運営委員会を組織し、活動を開始した。13JEESとの関連も念頭において、10周年記念事業の大枠を定めた。

8) ホームページの更新方式を若干改めて、電子広報委員会委員のみならず、 ホームページに情報を掲載したい関連委員会からの代表もホームページの 編集権限を与えることとし、合理化を図った。また、導入後4年目の本会 サーバーに不安定現象が発生し始めたので、更新した。

3. 委員会活動

(1) 総務部会

会長、次期会長、担当副会長および総務理事で構成する総務部会を理事会が開催されない月に開催し、その時点での会務上の問題点を整理して方針を打ち出し、会務を遅滞なく遂行することとした。

また、会長、次期会長、副会長および総務理事にて正副会長会議を組織し、 毎理事会前に開催して理事会の運営を円滑に進めるための準備および各委 員会の調整を行った。また、本会の運営全般について検討、対応した。事業 報告書を作成するとともに、平成 21 年度の予算案・役員分掌案について検 討した。

設立 10 年の節目を迎えること、および公益法人格の取得を目指すことを踏まえて、本会のこれまでの活動を振り返り、今後の活動方針を明確にするため、平成 20 年 10 月より将来計画検討委員会を発足させた。この委員会の活動報告は資料 2 に添付している。

(2) 会計部会

事務局の協力のもと毎月、予算管理月報の検討を行い、理事会へは7月、10月、12月、2月の年4回、経過月間および年度当初からの予算執行状況を報告・審議し、財務の健全化を図った。総務部会とともに事務局の協力を得て、平成20年度決算報告を行った。また、平成21年度予算案の作成を行った。

(3) 役員候補推薦委員会·選挙管理委員会

役員候補推薦委員会は平成 21 年度役員選挙の推薦候補者を選出した。また、候補者案内を作成した。

選挙管理委員会は平成 21 年度役員選挙の実施計画を策定し、事務局の協力のもと、3 月に選挙を実施し、開票の上、結果を報告した。

(4) 法人化検討委員会·将来計画検討委員会

公益法人制度改革に伴う新制度が平成20年12月より施行された。本会も公益法人格の取得を目指して総務理事、会計理事を中心メンバーとする法人化検討委員会にて新公益法人制度および他学協会の動向に関する情報収集に努め、定款の原案を検討した。定款の作成に当たっては本会に必要な事業

を明確にすることが必要であることが明らかになった。

一方、本会は平成23年1月に設立10年を迎えるに当たり、これまでの活動を振り返り、今後の活動方針を明確にする必要があった。このため、平成20年10月より将来計画検討委員会を発足させ、本会の設立理念を確認するとともに、これまでの会員規模・事業内容・財政状況を確認した。さらに、これらを踏まえて将来の学会像、すなわち事業内容・役員と事務局のあり方・財政状況を予測した。この委員会の活動報告は資料2に添付している。

(5) 会員部会

会員の入退会、管理、会費未納者対応に関する諸活動を行った。

法人会員の特典の見直しを行った。この見直しに伴い、法人会員もホームページの会員専用ページにログインできるようにするため、ログイン認証方法を検討し、実施に移した。論文集の閲覧は会員に与えられている重要な特典であるため、論文集編集委員会と協議の上、非会員に対しては1年間要旨だけの公開とすることとした。

さらに、新たに本会の英文パンフレットを制作し、本会の事業を国際的に 発信することとした。

(6) 電子広報委員会

日本地震工学会ホームページの定常的な情報の更新および管理を行った。 会員への情報サービスとして、JAEE NEWS (No.140~161)を半月に一度発 行し、会員にメールあるいは郵便にて送付した。内容は、時々の話題、理事 会報告、国際・国内会議の案内、出版案内などである。また、臨時メール配 信(計12回)を行い、臨機応変に情報を提供した。

平成 19 年度に引き続き、平成 20 年 11 月に開催された年次大会の受付システムを管理、運用した。また、導入後 4 年目の本会サーバーに不安定現象が発生し始めたので、更新した。この更新の際、アドレスの整理も行った。

また、ホームページの更新のために、電子広報委員会委員に過重な負担が生じたため、更新方式を変更した。すなわち、電子広報委員会委員のみならず、ホームページに情報を掲載したい関連委員会からの代表もホームページの編集権限を与えることとし、電子広報委員会を介さずに情報の掲示ができるように改善した。さらに、定型的な更新業務は事務局に依頼するなど合理化を図った。ただし、電子広報委員会の業務は受身であり、情報を積極的に作っていく立場ではなく、モチベーションの維持が困難である、という状況には変わりはなく、課題を残したままとなった。

(7)会誌編集委員会

平成 20 年 7 月に会誌第 8 号を、平成 21 年 1 月に会誌第 9 号を、それぞれ 刊行した。第 8 号では特集記事として、「1968 年十勝沖地震から 40 年・1978 年宮城県沖地震から30年」を企画した。第9号では、「地震動の性質と被害 -近年の地震からの知見ー」をテーマとした特集を組んだほか、「名誉会員 インタビュー」の連載を開始し、その第1回として田中貞二名誉会員へのイ ンタビュー記事を掲載した。

会誌投稿要領を策定し、掲載記事の著作権の扱いを明確化するとともに、 会員からの記事の募集・原稿編集の効率化を図った。また、編集委員の改選 時期と任期を、会誌の編集工程に合わせるように変更した。

(8) 事業企画委員会

- 1) 通常総会行事関連(平成20年5月21日) 第8回通常総会の行事として「我が国の電力安定供給と地震防災」と題 する講演会を開催した。
- 2) 技術セミナー・講習会等の開催 下記の技術セミナー、講習会、一般市民向けセミナー、出展を企画・実 施した。
 - a) セミナー「強震動予測レシピー新潟県中越沖地震や能登半島地震など に学ぶ」(平成20年4月11日:大阪)参加者53名
 - b) セミナー「地震発生確率〜理論から実践まで〜」(平成 20 年 4 月 22 日: 東京) 参加者 135 名
 - c) 市民向けフォーラム「1968 年十勝沖地震 40 年防災フォーラムー過去に 学び、将来に備えるー」(平成 20 年 5 月 10 日:八戸)参加者 220 名
 - d) 平成20年度東京都防災展への出展(平成20年8月19-21日:東京)
 - e) 講習会「緊急地震速報講習会・展示会 2008 東海」(平成 20 年 12 月 4 日~5 日:名古屋、他団体と共催)参加者約 300 名
 - f) 展示会「地震防災の学習教材の現状について」(平成 20 年 12 月 12 日 ~14 日:広島、土木学会、地盤工学会等と共催)参加者約 100 名
 - g) 技術セミナー「実務で使える地盤の地震応答解析」(平成 21 年 2 月 23 日:東京) 参加者 120 名
 - h) セミナー「地盤構造物におけるライフサイクルコスト戦略」(平成 21 年 3 月 11 日:京都)参加者 30 名、研究委員会を支援
- 3) 見学会の開催

下記の3件の見学会を企画・実施した。

- a) E-ディフェンス橋梁耐震実験見学会(平成 20 年 10 月 9 日: 兵庫)参加者 30 名
- b) E-ディフェンス首都直下地震防災・減災実験見学会(平成 21 年 1 月 22 日:兵庫)参加者 27 名
- c) E-ディフェンス実大 5 層制振構造建物実験見学会(平成 21 年 3 月 5 日:兵庫)参加者 23 名
- 4) 今後のセミナー等について検討・企画した。

(9) 大会実行委員会

第6回の年次大会「日本地震工学会大会 2008」を平成 20 年 11 月 3 日~5 日の 3 日間の日程で、仙台市情報・産業プラザにおいて行った。

発表論文数は 178 編であり、延べ参加者数は合計約 280 名であった。セッションの概要は資料 1 の事業報告書に示している。

併せて「地震工学技術フェア」として、地震計をはじめとする最新の地震 観測技術の展示会を開催した。

また、本開催年が1978年宮城県沖地震30周年に当たることから特別シンポジウムを開催し、多くの一般市民の参加を得るとともにマスコミにも取り上げられ、好評を博した。

(10) 国際委員会

平成24年に開催予定の第15回世界地震工学会議(15WCEE)を日本に招致するかを検討し、委員会としては招致すべきと判断して情報収集・体制確立に努めたが、理事会では、日本地震工学会の組織・体制の現状では十分な対応を取ることは不可能という判断から、招致の合意には至らなかった。ただし、平成28年に開催予定の第16回世界地震工学会議の招致を含めて今後の中長期的な国際交流活動について検討を継続することとした。

IAEE (国際地震工学会)事務局に対して、World List 作成支援などを援助した。また、IAEE 事務局長交代 (家村浩和氏:本会前副会長→芳村学氏:本会理事) および IAEE 日本代表交代 (小谷俊介氏:本会第6代会長→川島一彦氏:本会元副会長) に伴い、今後の IAEE 事務局および IAEE 日本代表に対する支援活動について検討した。

また、国際的な交流事業として下記を開催した。

a) IAEE・JAEE 共催「最近の中・日の地震被害報告会・交流会」(平成 20 年 8 月 29 日:東京)参加者 80 名

14WCEE に対して開発途上国参加者に対する旅費を支援するため、会員から寄付を募るとともに、本会から支援金を支出し、合計 7,500USD を送金した(詳細は5(3)参照)。

平成 20 年 10 月に開催された第 14 回世界地震工学会議(14WCEE)において Special Theme Session として次の 3 セッションを組織・運営した。

- a) Spectacular Projects of Base-Isolated Buildings (10 月 13 日)
- b) Spectacular Projects of Passively-Controlled Buildings (10 月 14 日)
- c) Earthquake Early Warning System (10月14日)

また、同会議(14WCEE)における展示ブース(10月12日~17日)にてこの3セッションの概要をポスターにて紹介するとともに、本会の概要も英文パンフレットなどにて紹介し、本会および日本の地震工学研究を国際的に発信した。

(11) 論文集編集委員会

平成20年度は5巻の論文集(第8巻第2号~第4号および第9巻第1号~第2号)をウェブページ上に順次発行した。このうち、第9巻第2号は特集号「情報共有による減災対策」として発刊した。

2008 年論文奨励賞の授与式ならびに受賞講演を平成 20 年 5 月 22 日の第 8 回通常総会の前に行った。また、2009 年論文奨励賞の選考を行い、下記の 2 名を理事会に諮り決定した。

- ·山口 晶 氏(東北学院大学)
- ・佐々木 健人 氏(慶應義塾大学)

論文集の会員限定公開について議論し、平成21年6月から非会員に対しては1年間要旨だけの公開とすることとし、理事会の承認を得た。限定公開に関する準備を進めた。

また、著作権譲渡書など各種書式の整備を行うとともに、論文奨励賞の選考内規を改定した。

(12) 研究統括委員会

研究統括委員会では、地震災害対応委員会、各研究委員会の活動を支援したほか新規の研究委員会の企画立案を行った。

1) 地震災害対応委員会

本委員会は常置委員会として設置されており、今年度は下記の各地震への対応を行った。

- a) 四川大地震(平成 20 年 5 月 12 日)
 - 四川大地震復旧技術支援連絡会議(議長:濱田次期会長、幹事学会: 土木学会)に本会も参画し、平成20年5月28日~6月1日に同会議の 代表団が四川に派遣された(本会会員では濱田次期会長、吉田副会長 ほかが参画した)。その報告会を合同で平成20年7月15日に土木学会 会議室で開催した。
- b) 岩手・宮城内陸地震(平成20年6月14日) 平成20年6月15日に4学会合同調査を実施し、本会より吉田副会長 ほかが参加した。その成果報告会を平成20年6月20日に土木学会講 堂で開催した。
- c) 岩手北部沿岸地震(平成20年7月24日) 平成20年7月25日に吉田副会長が調査を実施した。

上記の四川大地震や岩手・宮城内陸地震および 2007 年度の地震の際に、本会が組織的に機動性をもった対応が不十分であったことを踏まえ、緊急時のメーリングリスト・携帯電話網を整備するとともに、地震災害対応活動に関する規程を再検討して改訂した。

2) 研究委員会の活動支援

平成20年度に活動を行った研究委員会は下記のとおりである。

- a) 土構造物におけるライフサイクルコスト戦略の研究委員会(平成 18 年 6 月 1 日~平成 21 年 5 月 31 日、委員長:東畑郁生) 他団体からも資金援助を得て委員会活動を行った。委員会を 6 回開催し、報告書を作成した。ワークショップを 4 回開催し、成果の宣伝に努めた。内、3 回は海外(米国、中国、イラン)で開催し、1 回は国内(下記参照)で開催した。
 - ・「地盤構造物におけるライフサイクルコスト戦略」(平成 21 年 3 月 11 日:京都)参加者 30 名、事業企画委員会の支援を受ける。
- b) リモートセンシング技術を用いた災害軽減に関する研究委員会(平成 18年9月1日~平成21年3月31日、委員長:山崎文雄) 3回の委員会を開催した。国際ワークショップ(イタリア)の開催支援およびその場での発表を行うとともに、本会の大会にてオーガナイズドセッションを開催(平成20年11月5日)し、成果の普及に努めた。なお、平成21年度から新規の研究委員会を立ち上げ、この委員会の成果を継承して研究することとなった。
- c) 地震被害復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会(平成20年6月1日~平成22年5月31日、委員長:小長井一男) 委員会を3回開催した。国内外の諸地震、およびそれらの被害を紐解く地盤データなどのデータ集約の実態を探るとともに、地震によって引き起こされる短期的・長期的課題に関わる経験伝承・復興支援の課題を探った。
- d) 津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会(平成20年6月1日 ~平成22年5月31日、委員長:松冨英夫)防災施設を中心に据えて、 津波災害の実務的な軽減方策の研究・提案を行うことを目的として以 下の活動を行った。委員会は3回開催し、報告書を作成した。
 - ・津波減災対策施設の現地視察(釧路)
 - ・本会大会に連続して開催された第3回震災対策技術展/自然災害技 術展(宮城)にて、下記シンポジウムを開催した。

題名:津波災害の軽減方策のいま・みらい

- e) 原子力発電所の地震安全問題に関する調査委員会(平成 20 年 10 月 1 日~平成 23 年 3 月 31 日、委員長:亀田弘行) 原子力学会の支援を得て委員会活動を行っている。原子力発電所全体を捉えて最適な地震安全性をどのように実現すべきかを議論し、ロードマップを作成することを目的とした。委員会を 3 回開催し、原子力学会の専門委員会には 1 回参加した。今年度は活動方針を定め、検討すべき課題を抽出し、被災プラントの検証を行った。
- f) 微動利用技術研究委員会(平成20年12月1日~平成22年11月30日、 委員長:森伸一郎) 微動利用技術を地盤・土木・建築各分野での実務 へ普及させ、研究の進展に寄与するため、実用上の適用性と要求事項 を明らかにすることを目的とした。委員会を1回開催した。今年度は

活動方針・計画を定めるとともに文献リストを作成した。

3) 新規研究委員会の企画立案

新たな研究委員会として次の3つを企画立案し、理事会の承認を得てそれぞれ、平成20年10月、平成21年1月、平成21年4月より活動することとなった。

- a) 原子力発電所の地震安全問題に関する調査委員会
- b) 微動利用技術研究委員会
- c) 災害リモートセンシングに関する研究委員会

(13) 第13回日本地震工学シンポジウム関係

第13回日本地震工学シンポジウムは本会を幹事学会として平成22年度に開催する予定であるため、関連学会に共催を呼びかけるとともに運営委員会(委員長:和田章氏(東京工業大学))を発足させた。運営委員会準備会を3回開催し、本委員会を1回開催し、開催場所や委員の役割分担等の案を確認し、査読の有無や国際交流の企画について議論した。

4. 他学会との交流

共催 4 件、後援 15 件、協賛 5 件を承認した。具体的な内容は資料 1 の事業報告書に記載している。

5. その他

(1) 基金の取り崩し

地震災害調査基金より 12 万円を取り崩し、四川大地震および岩手・宮城内陸 地震の災害調査活動を援助した。

(2)対外的意見の表明

文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査研究推進本部事務局よりの「新たな地震調査研究の推進について」に関する意見募集に対し、鈴木会長名で学会としての意見を回答した(平成20年10月2日)

東京大学地震研究所の依頼を受け、共同利用・共同研究拠点化に認定を要望する、との回答を鈴木会長名で発した(平成 20 年 10 月 8 日)。京都大学防災研究所の依頼にも同様に回答した(平成 20 年 12 月 1 日)。

(3) 寄付行為

14WCEE に対して開発途上国参加者に対する旅費を支援するため、会員から 寄付を募るとともに、本会から支援金を支出し、合計 7,500USD を送金した。 14WCEE 組織委員会から本会は支援金支出者として感謝された。送金の内訳は 下記のとおりである。

(拠出金)

会員からの寄付(計52名より):505,000円 本会からの支出:331,050円 合計:836,050円

(送金)

支援額 7,500USD=送金時レート 110.54 円/USD×7,500USD=829,050 円

送金手数料(日本および中国) : 7,000 円 合計 : 836,050 円

寄付を頂いた方に感謝の意を表する。

第2号議案 平成20年度収支決算報告

平成 20 年度収支決算、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録を以下に示す。

なお、平成 20 年度は地震災害調査基金のうち、12 万円を取り崩し、2008 年四川大地震ならびに 2008 年岩手宮城内陸地震の災害調査の支援に充当した。両地震の地震災害調査基金申請書を併せて示す。

日本地震工学会 平成 20 年度収支決算 (案)

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

		1 \pi	入の部	
 科 目	予算額	決算額	差額	備考
会費等収入	19,370,000	17,164,750	2,205,250	
正会員年会費	13,000,000	11,820,000	1,180,000	
学生会員 年会費	240,000	186,750	53,250	
法人会員 年会費	6,000,000	5,130,000	870,000	
正会員入会金	130,000	28,000	102,000	
一般事業収入	1,200,000	903,580	296,420	
論文事業収入	600,000	700,000		 論文集投稿料収入
広告収入	400,000	170,000		会誌広告収入
調査研究事業収入	200,000	33,580		研究委員会主催行事収入
企画事業収入	3,000,000		1,001,040	
資料頒布収入	100,000	61,960		資料販売収入
参加費収入	2,900,000	1,937,000		セミナー、講演会、講習会等参加費収入
年次大会事業収入	2,750,000	2,771,500	△ 21,500	
参加費収入	2,300,000	1,460,000		大会参加費収入
特別企画収入	200,000	1,100,000		地震工学フェアー収入
懇親会収入	250,000	211,500		懇親会参加費収入
維収入	450,000	272,788	177,212	
預金利子	0	28,161	△ 28,161	
寄付金収入	0	0	0	
地震災害調査基金取崩	0	120,000	△ 120.000	岩手·宮城内陸地震,四川大地震
法人化積立金取崩	300,000	0	300,000	
その他雑収入	150,000	124,627	,	過去の資料販売収入
当期収入合計(A)	26,770,000	23,111,578	3,658,422	
前期繰越金(B)	9,213,314	9,213,314	0	
収入合計(C)=(A)+(B)	35,983,314		3,658,422	

		支	出の部	
科目	予算額	決算額	差 額	備 考
一般事業費	6,730,000	6,083,307	646,693	
論文事業費	1,060,000	958,980	101,020	
委員会費	160,000	176,340	△ 16,340	会議費, 旅費
人件費	600,000	679,530	\triangle 79,530	アルバイト(週2日)
その他	300,000	103,110	196,890	特集号CD-ROM費
会誌事業費	2,270,000	2,156,630	113,370	
委員会費	170,000	63,645	106,355	会議費,取材費,旅費
印刷費	1,600,000	1,651,335	△ 51,335	年2回発行
発送費	500,000	441,650	58,350	年2回発送
国際交流事業費	1,300,000	1,551,681	△ 251,681	
委員会費	200,000	344,651	\triangle 144,651	会議費,旅費
海外広報費	100,000	0	100,000	
WCEE関係費	750,000	629,268	120,732	ブース出展, パネル製作, 寄付(33万円, 途上国旅費援助)
ICEE関係費	50,000	0	50,000	会議費
IAEE支援費	200,000	577,762	\triangle 377,762	会議費,ワールドリスト作成費
調査研究事業費	2,100,000	1,416,016	683,984	
研究統括委員会	50,000	0	50,000	
地震災害対応委員会	50,000	126,182	\triangle 76,182	岩手·宮城内陸地震,四川大地震
研究委員会	1,600,000			40万円×4委(土構LCC・リモセン・被害復興・津波)
新規研究委員会(期中)	400,000	0	400,000	20万円×2委(微動, 原子力), 上段に含む

		支 出	の部(続き	(単位:円)
科目	予算額	決算額	差額	備考
10周年記念事業費	100,000	0	100,000	
会議費	100,000	0	100,000	
地震工学シンポ事業費	0	0	0	
会議費	0	0	<u> </u>	会議費
表彰関係費	300,000	195,544	104,456	
委員会費	100,000	101,680		会議費, 旅費
賞状作成費	200,000	93,864		高文獎励賞, 名誉会員推挙
企画事業費	2,500,000	2,212,570	287,430	
委員会費	600,000	499,940		会議費, 旅費
会場費	600,000	681,815	△ 81,815	
資料作製費	600,000	517,374		資料印刷製本費
講師旅費	150,000	132,160		講師旅費
講師謝礼	300,000	249,999		講師謝礼
維費	50,000	116,020		アルバイト代等
若手支援事業費	100,000	0	100,000	
他団体共催費	100,000	15,262	*	第58回理論応用力学講演会分担金
年次大会事業費	2,750,000	3,169,991	△ 419,991	
委員会費	50,000	0,103,331	•	会議費
会場費	600,000	893,162		会場費, 備品費, 看板代等
資料作製費	1,100,000	926,520		大会梗概集印刷製本費
懇親会費	200,000	224,920		懇親会開催費
特別企画費	300,000	556,719		宮城県沖地震30周年記念シンポッウム開催費
維費	500,000	568,670		アルバイト他
IT事業費	1,550,000	1,533,627	16,373	
	50,000	54,117	$\triangle 4,117$	
業務委託費	1,200,000	1,202,310		ンステム維持, web維持
サーバー費	300,000	277,200		維持費
広報費	840,000	625,118	214,882	
和文パンフレット	340,000	178,868	161,132	
英文パンフレット	500,000	446,250	•	新規作製費
管理費	10,600,000	10,685,440	△ 85,440	
地代家賃	1,850,000	1,811,289		家賃, 共益費, 光熱費等
人件費	5,000,000			事務局職員、アルバイト
事務消耗品費	730,000	823,414		コピー機リース費,事務用品費,消耗品費
会計処理費	450,000	315,000		税理士監査費、会計ソフトリース費
総会開催費	350,000	337,124	•	会議室、旅費、コピー他
理事会開催費	700,000	809,563	•	会議費,旅費,将来検討委員会費
法人化検討委員会	300,000	11,550		会議費, 弁護士費用, 旅費
選挙管理委員会	280,000	264,765		会議費,郵送費
役員推薦委員会	120,000	92,740		会議費,旅費
会員関連費	340,000	515,925		会費請求費,会員証送付費,名簿更新費
通信費	340,000	258,399		電話代, 資料発送費, 切手代等
維費	140,000	122,049		銀行手数料,清掃費等
固定資産取得	900,000	800,420		サーバー新規購入80万円+セッティング10万円
法人化積立金	0	0		平成19年度末で1500万円
地震災害調査基金	500,000	500,000		平成19年度末で110万円
運営基金	0	0		平成19年度末で40万円
当期支出小計 (D)	26,770,000	25,806,017	963,983	
予備費(E)	9,213,314	0	9,213,314	
当期支出合計(F)=(D)+(E)	35,983,314	25,806,017	10,177,297	
当期収支差額(G)=(A)-(F)	\triangle 9,213,314	\triangle 2,694,439	\triangle 6,518,875	
次期繰越金(H)=(C)-(F)	0	6,518,875	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	

貸借対照表総括表 平成21年 3月31日現在

日本地震工学	会
--------	---

· 科	目		一般会計	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金			6, 603, 875	6, 603, 875
現		金	5, 065	5, 065
普 通	預	金	661, 030	661,030
郵 便 振	替 口	座	5, 937, 780	5, 937, 780
流動資産合計			6, 603, 875	6, 603, 875
2. 固定資産				
(2) 特定資産				
法 人 化 積 🖸	区 引 当 資	産	15, 000, 000	15, 000, 000
地震災害調	査 引 当 資	産	1, 480, 000	1, 480, 000
事業運営基	金 引 当 資	産	400, 000	400,000
特定資産合計			16, 880, 000	16, 880, 000
(3) その他固定資産				
	備	品	1, 189, 026	1, 189, 026
敷		金	726, 768	726, 768
その他固定資産合計			1, 915, 794	1, 915, 794
固定資産合計			18, 795, 794	18, 795, 794
資産合計			25, 399, 669	25, 399, 669
Ⅱ 負債の部				
1. 流動負債				
前 受	会	費	46, 000	46, 000
仮	<u>.</u>	金	39, 000	39, 000
流動負債合計			85, 000	85, 000
負債合計			85, 000	85, 000
Ⅲ 正味財産の部		,		
1. 指定正味財産		•		
指定正味財産合計			0	0
2. 一般正味財産			25, 314, 669	25, 314, 669
(うち基本財 産	への充当額)	ı	(7, 179, 772)	(7, 179, 772)
(うち特定資 産	への充当額)	1	(16, 100, 000)	(16, 100, 000)
正味財産合計	•		25, 314, 669	25, 314, 669
負債及び正味財産合計			25, 399, 669	25, 399, 669

<u>正味財産増減計算書総括表</u> 平成20年 4月 1日から平成21年 3月31日まで

					科		目					-	一般会計		合	計
I	一角		財産均	曽減の	部					:						
	1. ∦	圣常增	減の部	部												
	(1)	経常	収益													
		受		取		入	会		金			[28, 000]	ł		28,000]
		受		取	Į.	É	<u></u>		費		.	[17, 136, 750]	[17,	136, 750]
			般		事	業		収	益			[903, 580]	[903, 580]
		企	画	İ	事	業		収	益			[1, 998, 960]	[1,	998, 960]
		年	次	大	슾	事	業	収	益			[2,771,500]	[2,	771, 500]
		雑				収			益			[152, 788]	[152, 788]
		経常	収益記	H .									22, 991, 578		22,	991, 578
	(2)	経常	費用							•	-					
		事				業			費			[13, 820, 157]	[13,	820, 157]
		管				理			費			[10, 874, 240]	[10,	874, 240]
		経常	費用記	H									24, 694, 397		24,	694, 397
		当	期経常	常増減	額							Δ	1, 702, 819	Δ	1,	702, 819
:	2. ⅙	圣常外	増減の	の部												
	(1)	経常	外収益	益												
		経常	外収益	监 計									0			0
	(2)	経常	外費月	Ħ												
		経常	外費月	用計									0			0
		当	期経常	常外增	減額								0			0
		当	期一角	设正味	財産均	削減額				•		Δ	1, 702, 819	Δ	1,	702, 819
			般正明	未財産	期首列	浅高							27, 017, 488		27,	017, 488
			般正明	未財産	期末列	浅高							25, 314, 669		25,	314, 669
П	指定	包正味	財産は	曽減の	部											
		当	期指定	定正味	財産地	曽減額							0			0
		指	定正则	未財産	期首列	浅高							0			0
		指	定正则	未財産	期末例	浅高							0			0
Ш	ŒΦ	未財産	期末列	浅高									25, 314, 669		25,	314, 669

財産目録

平成21年 3月31日現在

日本地震工学会 一般会計

額 金 科 目 資産の部 1. 流動資産 6,603,875 現金預金 現金手許有高 5,065 661,030 金 預 三菱東京UFJ銀行・田町支店 No.1629380 661,030 5, 937, 780 振 口 座 6,603,875 流動資産合計 2. 固定資産 (2) 特定資産 引 当 15,000,000 法 人 化 積 立 15, 000, 000 三井住友銀行・三田支店 Na.7834051 1, 480, 000 地震災害調 查 引当資 三井住友銀行・三田支店 №8017725 1,480,000 400,000 事業運営基 金 引当資産 400,000 三菱東京UFJ銀行・田町支店 No.246315 16, 880, 000 特定資産合計 (3) その他固定資産 1, 189, 026 品 什 726, 768 敷 金 1, 915, 794 その他固定資産合計 18, 795, 794 固定資産合計 25, 399, 669 資産合計 Ⅱ 負債の部 1. 流動負債 費 46,000 슾 受 40,000 正会員 6,000 学生会員 39,000 受 金 仮 85,000 流動負債合計 85,000 負債合計 25, 314, 669 正味財産

平成20年度 日本地震工学会 地震災害調査基金申請書

2009年 3月 28日

1				2009	年 3月 28日				
申請事業名	四川大地	震復旧技術支援							
申 請 者	地震災	害対応委員会	写対応委員会 委員長 中埜 良昭 「会員会 」 「会員会」 「会」 「会」 「会」 「会」 「会」 「会」 「会」 「会」 「会」 「						
申請事項	① 災害派遣 2.招聘 3.委員会が 4.その他			支援希望額	¥80,000				
1. 全体事業	内容	マグニチュートは、土木学会、川大地震復旧技日本地震工学会 同本地震工学会 にの連絡会議は開催される交流 の具体的取組に (前掲))を急派しは日本地震工学	ド(Mw)7.8の大規模 日本建築学会,地 近待支援連絡会議」 近次期会長/事務局 地元成都市のし、地 近会議に参加し、地 近会議に参加し、地 近会議に参加し、地 に関する情報交換を た(期間 5 月 28 日 会からも濱田団長	莫な地震が発生し 盤工学会,日本地 (議長;濱田政貝 高;土木学会)に 南交正学,防災工 を行うため,代見 日(木)~6月1日 長のほか,吉田	国中西部の四川省で会した。日本地震工学会した。日本地震工学会上連携し「四十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十				
2. 全体の総	支出金額		¥397	,687					
3. 支援費目 希望金額		 ・1次,2次支援チーム派遣の現地共通経費 ・連絡会議の経費 ・報告会(7/15)資料作成費 (日本地震工学会の分担金¥85,762のうち¥80,000) 							
		合計金額	¥80,000						
4. 実施期日		平成 20 年 5	月 12 日~平成 20)年7月15日					
5. 実施結果		日本地震工学会からは、第1次、第2次復旧技術支援チームに濱田 次期会長を始めとする数人の会員を派遣した。また、7月15日に「四 川大地震復旧技術支援連絡会議報告会」を開催した。報告会には、100 名を超える参加があった。報告内容は日本地震工学会ホームページに 掲載した。							
6. その他									

平成21年3月31日 理事会承認

平成 2 0 年度 日本地震工学会 地震災害調査基金申請書

2009年 3月 28日

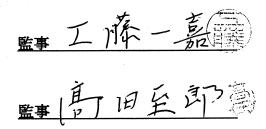
申請事業名 岩手・宮城内陸地震合同調査団								
申 請 者 地震災害対応委員会	委員長 中埜 良昭							
 災害派遣・調査 2.招聘 申請事項 3.委員会が行う交流 4.その他 	支援希望額 ¥40,000							
マグニチュード 7.2, 発生した。この地震に 日本地すべり学会の 4 1. 全体事業内容 壊・土石流・構造物被	等43分に岩手県の南西部山岳地帯を震源とし、 最大震度6強を記録した岩手・宮城内陸地震が 対し、日本地震工学会、土木学会、地盤工学会、 学会は合同調査団を組織し、地すべり・斜面崩 害、地震動強さ等の調査を目的として、地震翌 地調査を行い、6/20に土木学会講堂にて速報会							
2. 全体の総支出金額	¥399,327							
工学会分担金	 ・ 合同調査団派遣費用,速報会費用,資料作成費用のうち日本地震工学会分担金 (日本地震工学会の分担金¥40,420のうち¥40,000) 							
合計金額 ¥40	,000							
4. 実施期日 平成 20 年 6 月 15 日	平成 20 年 6 月 15 日~平成 20 年 6 月 20 日							
すべり・斜面崩壊・± 加者は約 450 人の多数	日本地震工学会からは、吉田副会長が調査団に参加し、速報会では地すべり・斜面崩壊・土石流の被害報告を行った。6/20 の速報会の参加者は約450人の多数にのぼり、会場に入りきれないほどであった。報告内容は日本地震工学会ホームページに掲載した。							
6. その他								

平成21年3月31日 理事会承認

会計監査報告書

平成 21 年 4 月 22 日

日本地震工学会会長 鈴木浩平殿



日本地震工学会規約第34条により、平成20年度収支決算及び財産目録について、 下記書類により監査の結果、別紙決算書は、適正に表示され、年度内会計処理が正確に 実施されたことを証明致します。

【監査書類】

- 1. 貸借対照表
- 2. 収支計算書
- 3. 財産目録
- 4. 預金残高証明書

以上

第3号議案 平成21年度次期会長・副会長・監事選挙結果報告

日本地震工学会選挙管理委員会委員長 金子 美香

平成21年度「次期会長」、「副会長」、「監事」に関する選挙を行った結果、 下記の方が選出されましたので、ご報告いたします。

次期会長 久保 哲夫 氏(東京大学 教授)

副会長 中島 正愛 氏(京都大学 教授)

東畑 郁生 氏(東京大学 教授)

監事 井上 範夫 氏(東北大学 教授)

以上

第4号議案 平成21年度役員の選任

日本地震工学会規約第14条に定める日本地震工学会平成21年度役員として、選挙で選出された役員のほかに次期会長が以下の新任理事を選びましたので、本総会にて選任をお諮りします。

(役職)	(候補者)		(備考)
会長	濱田	政則	(新任)	第8回総会で選任済
次期会長	久保	哲夫	(新任)	選挙によって選出
副会長	武村	雅之		
副会長	吉田	望		
副会長	中島	正愛	(新任)	選挙によって選出
副会長	東畑	郁生	(新任)	選挙によって選出
理事	犬飼	伴幸		
理事	大堀	道広		
理事	金子	美香		
理事	佐藤	清隆		
理事	中村	英孝		
理事	福和	伸夫		
理事	翠川	三郎		
理事	芳村	学		
理事	飯場	正紀	(新任)	
理事	倉本	洋	(新任)	
理事	栗田	哲	(新任)	
理事	境	有紀	(新任)	
理事	高田	<u> </u>	(新任)	
理事	中村	孝明	(新任)	
理事	藤田	聡	(新任)	
理事	保井	美敏	(新任)	
監事	高田	至郎		
監事	井上	範夫	(新任)	選挙によって選出

第5号議案 平成21年度役員候補推薦委員会委員の選任

日本地震工学会役員候補推薦委員会では、日本地震工学会選挙規則第5条に 定める役員候補推薦委員会の委員として、以下の候補者を提案します。本総会 にて選任をお諮りします。

なお、小路委員が任期途中で退任し欠員が生じたため、選挙規則第5条2項 の「任期中の委員に欠員が生じた場合は、理事会の承認を得て補欠することが できる。補欠によって就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。」の定 めに従い、補欠の高宮委員の就任(任期は平成22年5月31日まで)を第77回 理事会(平成21年5月7日開催)で承認しましたので、ご報告いたします。

退任委員

(任期: 平成19年6月1日 ~平成 21 年 5 月 31 日)

> (東海旅客鉄道) 岩田秀治

勝俣英雄 (大林組)

楠 浩一 (横浜国立大学)

年縄 巧 (明星大学)

飛田 潤 (名古屋大学) 林 康裕 (京都大学)

松岡昌志 (産業総合技術研究所)

新任候補者

(任期: 平成21年6月1日 ~平成23年5月31日)

新井洋 (建築研究所) 川口順 (三重大学)

坂田弘安 (東京工業大学)

(清水建設) 田蔵隆 中村孝明 (篠塚研究所)

(防災科学技術研究所) 中山学

野畑有秀 (大林組)

退任委員(任期途中)

(任期: 平成20年6月1日 ~平成21年5月6日)

小路泰広 (国土技術政策総合研究所)

補欠委員

(任期: 平成21年5月7日

~平成22年5月31日)

(国土技術政策総合研究所) 高宮進

留任委員

(任期: 平成20年6月1日

~平成22年5月31日)

一井康二 (広島大学)

犬飼伴幸 (竹中工務店)

植竹富一 (東京電力)

大友敬三 (電力中央研究所)

小林信之 (青山学院大学)

西田哲也 (秋田県立大学) 原田隆典 (宮崎大学)

諸井孝文 (鹿島建設)

第6号議案 平成21年度選挙管理委員会委員の選任

日本地震工学会選挙規則第2章第12条に基づき、次期会長が平成21年度 選挙管理委員会委員として、下記の正会員2名を指名したので選任につき本総 会に諮ります。

正会員 日比野 浩 氏 (大成建設) 正会員 岡野 創 氏 (鹿島建設)

なお、総会でのご承認がいただけましたら、次期会長が理事の中から指名する2名とともに、平成21年度役員選挙管理委員会を構成いたします。

以上

第7号議案 日本地震工学会規則の改定

本会は 50 歳代の会員が最も多く、20~30 歳代の会員数が少ないことは本会の継続的発展にとって今後、大きな問題となる可能性があります。この会員構成の状況を改善するため、学生会員を増やすとともに、学生会員から正会員への転格者も増やし、20 歳代の会員を増加させるとの方針が理事会で合意を得ました。

そこで、まず学生会員の会費を下記のように 1,000 円に引き下げることをご 報告いたします。

また、転格の際に、入会金は必要としませんが、学生会員のこの年会費 1,000 円から、正会員の年会費 10,000 円になることが転格の障害になると思われます。 そこで、学生会員からの転格に限って正会員年会費を初年度のみ下記のように 引き下げることをご報告いたします。

なお、一般規則第 16 条 (規程の設定・改廃) によれば、「この規則で別に定めるもののほか、規則の施行に必要な規程の設定および改廃は、理事会の議決を経て定める。」とあります。下記改定については第 77 回理事会 (2009 年 5 月 7 日)で議決しております。

(変更前)

第2条(会費および入会金)

会員の会費(年額)は次のとおりとし、毎年度の会費を前納しなければならない。正会員は入会時に入会金1,000円を必要とする。

(1)正会員 10,000円

(2)法人会員

特級	200,000円以上
A級	100,000円
В級	50,000円
C級	20,000円
	3 000⊞

- (3) 学生会員
- 2. 学生会員が引き続いて正会員になる場合は、入会金を必要としない。
- 3. 会員以外で会誌、論文集の購読希望者は別に定める年極購読料を前納しなければならない。
- 4. 正会員が名誉会員になった場合は、会費の納入を必要としない。

(中略)

附則

この規則は、2001年1月1日から施行する。

- 2. 2001年1月~同年3月の期間の会費は、第2条の定めにかかわらず、とくに徴収しないものとする。
- 3. 規則改定

第1回改定日:2002年5月15日(第14回理事会)第2回総会にて報告 第2回改定日:2003年3月12日(第23回理事会)第3回総会にて報告

(変更案) 下線部が変更点

第2条(会費および入会金)

会員の会費(年額)は次のとおりとし、毎年度の会費を前納しなければならない。正会員は入会時に入会金1,000円を必要とする。

(1)正会員

10,000円

(2)法人会員

特級 200,000円以上 A級 100,000円 B級 50,000円 C級 20,000円 1,000円

- (3)学生会員
- 2. 学生会員が引き続いて正会員になる場合は、入会金を必要としない。
- 3. 学生会員が引き続いて正会員になる場合は、1号の定めによらず、正会員になった初年度の会費を3,000円とする。
- <u>4</u>. 会員以外で会誌、論文集の購読希望者は別に定める年極購読料を前納しなければならない。
- 5. 正会員が名誉会員になった場合は、会費の納入を必要としない。

(中略)

附則

この規則は、2001年1月1日から施行する。

- 2.2001年1月~同年3月の期間の会費は、第2条の定めにかかわらず、とくに徴収しないものとする。
- 3. 2009年5月7日に改定した第2条の適用は2009年6月1日から開始する。
- 4. 規則改定

第1回改定日:2002年5月15日(第14回理事会)第2回総会にて報告 第2回改定日:2003年3月12日(第23回理事会)第3回総会にて報告 第3回改定日:2009年5月7日(第77回理事会)第9回総会にて報告

第8号議案 一般法人への移行計画

平成20年度の将来計画検討委員会の報告を踏まえ、日本地震工学会は一般法 人格さらには公益法人格を取得するため必要な準備を下記のように開始するこ とをお諮りいたします。

なお、以下の活動の結果、法人格を持つ日本地震工学会を設立し、現在の日本地震工学会を解散することになりますので、規約第23条で総会の議決事項として示されている「その他理事会が必要と認めた事項」に該当すると理事会として判断し、総会の議決を求めることといたしました。

1. 法人化の目的

日本地震工学会が一般法人格さらには公益法人格を取得する目的は以下の通りです。

- ① 法人格取得によって日本地震工学会の社会的信用を高め、学会の役割と事業を社会にさらに広く認知させる。
- ② 学会設立の目的の一つである、地震災害軽減のための学協会横断的・ 学際的調査研究の推進においてリーダー機関の役割を果たす。
- ③ 官公庁等公的機関からの調査研究委託および民間からの寄付金を積極的に受託し、学会活動を一段と活性化するとともに学会の財政基盤を確たるものとする。

2. 法人化準備のための体制と組織

日本地震工学会は上記の法人格を取得するため、下記の体制で法人化準備委員会を組織します。

委員長 : 会長

副委員長:次期会長

委員 :理事および理事経験者ならびに必要に応じて有識者

委員会には次の作業部会を設置します。

定款:学会組織・選挙制度の見直し、定款・規則・規程の作成と整備、等

財務:経理規則の整備、財務上の準備、等

会員:会員特典の整備、等

3. 法人化に向けての日程

次の2つの段階を踏んで法人格の取得を目指します。

第 1 段階:一般社団法人(非営利型)日本地震工学会の設立、および現日

本地震工学会(任意団体)の解散

第2段階:一般社団法人(非営利型)日本地震工学会に対する公益認定を

取得し、公益社団法人日本地震工学会を設立

第1段階については平成21年度事業として主たる準備を終了させ、公益法人に関する動向に配慮しながら、平成22年度以降の最適な機会に完了させる予定です。

第2段階については、第1段階の完了後、本会の事業の発展と財務上の安定 を考慮して実施に移します。

第9号議案 平成21年度事業計画

日本地震工学会は、地震工学の分野横断的調査・研究の推進、地震災害軽減のための国際的活動と社会への啓蒙活動を含む直接的貢献を目標として活動してきた。平成20年度において、これまでの活動結果を評価し、新たな中・長期ビジョンに基づいた今後の活動方針を将来検討委員会(第1号議案)で検討した。これを受け、平成20年は、同年より始まった国の公益法人制度改革の進行に合わせて学会の公益法人化に向けた検討を法人化検討委員会で行った。

本年度は、第8号議案に示すように、一般法人格(非営利型)取得を目指し、 法人化準備委員会を新たに設置し実施する。また、20歳代の会員数の増加を図 るために、第7号議案に諮った学生会員の会費見直しと、学生会員から正会員 への転格者の会費低減を行う。

本学会は、地震防災に関する提言・知識の普及および防災教育などの社会への貢献を設立理念のひとつとしてきたが、そのための事業活動は未だ十分ではない。今後設立理念に則した事業も企画し、実行に移すことで社会への貢献を図る。研究統括委員会において、研究委員会活動を活発化させ、成果の内外への発信を計り、本学会の社会的認知度を向上させる。

今年度は、11 月に東京で年次大会を開催し、昨年度と同様の活発な事業活動を行う。また、2011年1月に本会は設立10周年を迎えるため、設立10周年に向けた記念事業および記念式典(2011年3月末)の準備を開始する。

一方、2010年1月は、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災から15年目にあたるため、2010年1月18日に神戸において、他の関連学協会との共催で「阪神・淡路大震災15周年フォーラム(仮称)」を開催する。また、2010年11月に第13回日本地震工学シンポジウムをつくば市で本会主催のもと8学協会共催で開催するための準備を開始する。

これらの一連の活動を通じ、本学会の設立主旨を具現化するとともに社会的認知向上に努力する。

(1) 法人化準備委員会

日本地震工学会は以下の目的をもって一般社団法人(非営利型)への移行を目指す。

- ① 法人格取得によって日本地震工学会の社会的信用を高め、学会の役割と事業を社会にさらに広く認知させる。
- ② 学会設立の目的の一つである、地震災害軽減のための学協会横断的・学際的調査研究の推進においてリーダー機関の役割を果たす。
- ③ 官公庁等公的機関からの調査研究委託および民間からの寄付金を積極 的に受託し、学会活動を一段と活性化するとともに学会の財政基盤を確 たるものとする。

具体的な活動としては、平成 21 年度に一般社団法人(非営利型)への移行を目指して定款(案)・諸規程(案)の作成等の主たる準備を終了させ、公益法人に関する動向に配慮しながら、平成 22 年度以降の最適な機会に完了できるようにする。

(2) 会員部会

- 1) 学生会員増強のために会費額を変更する。すなわち、現行 3,000 円を 1,000 円とする。
- 2) 学生会員の優遇措置として、卒業後の学生会員からの転格者に対し、正会員となった初年度の会費を3,000円とする。2年目からは10,000円(正規)とする。
- 3) 法人会員増強の検討を行う。
- 4) 平成22年度総会で名誉会員を推挙するため、準備を行う。
- 5) 会費未納者対策の検討を行う。
- 6) パンフレットの改定を行う。
- 7) そのほか会員に係わる諸施策の検討を行う。

(3) 電子広報委員会

- 1) サーバーの管理、サーバーの更新の残務を完了させる。
- 2) ホームページ記事の編集を実施する。
- 3) JAEE ニュース の配信 (月 2 回) 及び JAEE 臨時ニュースの配信 (適宜) を行う。
- 4) 年次大会の受付システム管理を確実に実施する。
- 5) 各担当理事と連携を取り、会員に魅力的なコンテンツの充実を図り、会員増への貢献を図る。
- 6) ホームページ維持・管理の効率化に関して検討し、推進する。

(4)会誌編集委員会

- 1) 会誌第10号(2009年7月) および第11号を発行する(2010年1月)。
- 2) 第9号からの連載記事「名誉会員インタビュー」を継続して掲載する。
- 3) 連載企画、特別企画などの記事の継続的生産について検討する。
- 4) ホームページと連携した効果的な情報発信/記事募集方法を検討する。
- 5) 本会設立10周年記念事業に関連して特集号の発刊を企画する。
- 6) 業務の遂行および引継ぎの円滑化に向けて委員の募集、構成および改選 方法の見直しを、前年度に引き続き、検討する。

(5) 論文集編集委員会

- 1) 定期論文集の発刊(2・5・8・11月号)する。
- 2) 編集委員会を開催する。
- 3) 2009 年度奨励賞候補者を選定し、2008 年度奨励賞授賞式を遂行する。
- 4) 新特集号の企画を行う。
- 5) 更なる活性化や効率化に向けて、HPの充実、読手続きの効率化・迅速 化、論文編集担当事務職員の待遇改善等についても検討を進める。

(6) 事業企画委員会

これまでの活動成果を踏まえ、2009年度は以下の活動を計画する。

- 1) 技術講習会:「実務者」を対象とするほか、年配者から若手への技術の 伝承・習得を目的とした分かり易い講習会も企画する。
- 2) 展示会および講演会:昨年度は、幼児・児童を対象とした学習教材展示会を初めて企画・開催した。展示会や講演会の対象層の幅をひろげ、個々の要求に応じた企画を立案する。
- 3) 施設・実験見学会: 当学会の特色である横断的なテーマを企画し、複数の分野の見学者が参加し情報を共有できるような企画を立案する。
- 4) 地震被害報告会: 昨年の「中国四川大地震」など, 時代の変化に即した 話題を提供する。
- 5) 2010年1月開催の阪神・淡路大震災15周年フォーラム(仮称)の開催を支援するとともに、本会の10周年記念事業に関連して企画を立案する。

(7) 年次大会実行委員会

2009 年度日本地震工学会大会(東京)開催の企画・開催を行う。

- 1) 会期:11月12日(木)~11月14日(土)
- 2)場所:代々木青少年総合センター(センター棟)
- 3) 論文締め切り(申し込み、提出)とも9月10日(水)頃を予定。
- 4) 地震工学技術フェア開催準備、およびウェブに関する活動を行う。

(8) 研究統括委員会

研究委員会の活動及び成果報告の活発化を図る。

- a) 津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会(平成 20 年 4 月~ 平成 23 年 3 月):
 - ・3回の委員会開催等を通して、津波被害に対する具体的で実務的な対策の検討を行う。
 - ・委員会活動成果を報告する(日本地震工学会年次大会を利用)。
 - ・社会貢献の一形態として、津波災害発生時には調査研究を実施する。

- b) 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会(平成 20年5月~平成23年5月):
 - ・講習会を開催し2008年度の活動で得られた知見・成果を紹介するとともに今後の課題について、議論する。
- c) 原子力発電所の地震安全問題に関する調査委員会(平成 20 年 10 月~ 平成 23 年 3 月) :
 - ・新潟県中越沖地震での経験を活かし、原子力発電所の地震時の安全 性の考え方について討議する。
 - ・年4回の活動で、①耐震設計、②PSA、③防災・運転管理、④地震工 学の要素技術について討議する。
- d) 微動利用技術研究委員会(平成21年1月~平成23年5月):
 - ・年 3 回委員会開催で、文献 pdf 集原稿収集・整理と利用実態と適用 性調査を行い問題点の洗い出し、適用制判断基準の検討を行う。
 - ・利用ガイドライン素案の検討。学会セッション企画を行う。
- e) 災害リモートセンシング技術の標準化と高度化に関する研究委員会 (平成21年4月~平成24年3月):
 - ・1回/3ヶ月の頻度で委員会を開催。
 - •10 月にアメリカで開催予定のワークショップを米国多領域地震工学 研究センターと協働で支援し、研究成果を発表する。
 - ・災害把握技術の開発や建物インベントリ構築等に関する研究を推進する。

地震災害対応では地震災害対応委員会を支援する。特に、海外での被害地 震発生時には、調査団派遣のイニシアチブをとり、国内の各学会と連絡を とり調査団の構成、派遣を支援する。

- f) 地震災害対応委員会(常設委員会):
 - ・国内外の地震災害発生時における災害調査活動支援(情報収集,各 学会調査団との調整,合同調査団の構成,突発災害調査費申請支援 等)および調査報告会の企画,主・共催,開催支援などの災害対応 活動を主導的に行う。
 - ・活動の基本となる活動規程の策定および活動時に必要となる緊急連絡網や調査派遣時の団員候補者に関する人材情報等の具体的データ・情報の整理・整備とメンテナンスを開始する。

(9) 国際委員会

2009 年度は JAEE として参加すべき WCEE などの国際学会の開催はあまりないので、JAEE の国際的活動の方針・企画を立案することに注力する。

1) JAEE の国際的活動の中長期方針の検討・立案を行う。

- 2) IAEE 事務局・IAEE 日本代表の支援を継続する。特に、IAEE 事務局の NPO 法人格取得の支援に注力する。
- 3) 14WCEE での JAEE 展示企画紹介パネルを JAEE の web へ掲載する。
- 4) Regulations for Seismic Design, A World List の発行支援体制を検 討し、発足させる。
- 5) 委員会構成の見直しを行う。例えば、国際的活動を行っている各種機関 に委員の派遣を要請する、などを行う。
- 6) 第13回日本地震工学シンポジウム(13JEES)運営委員会との連携を強化し、 シンポジウムの国際化支援(アジア主要国による円卓会議の開催支援、等) を進める。

(10)10周年記念事業実行委員会

- 10周年記念事業実行委員会を立ち上げ、10周年記念事業の立案を行う。
- 1) 記念式典の企画を総務部会と連携して検討する。2011年3月末、建築会館ホールでの開催を目標とする。
- 2) 記念事業を事業企画委員会と連携して検討する。
- 3) 記念出版を会誌編集委員会と連携して検討する。

この他に、他学会と共催して下記の事業を行う。

- (1) 阪神・淡路大震災 15 周年フォーラム (仮称) 実行委員会 阪神・淡路大震災 15 年年フォーラム (仮称) 実行委員会を設置し、講演会を開催する。
 - 1) 開催日:2010年1月18日
 - 2) 会場:神戸国際会議場メインホール (定員約 700 名):神戸市中央区港島 6-9-1
- (2) 日本地震工学シンポジウム運営委員会

第13回日本地震工学シンポジウムの実施に向けた各種準備を行う。

- 1) 開催日:2010年11月18日~20日
- 2) 会場: つくばエポカル (つくば国際会議場): 茨城県つくば市竹園 2-20-3

memo

第10号議案 平成21年度収支予算

平成21年度収支予算(案)を以下に示す。

なお、法人化積立金(平成 20 年度末で 1,500 万円) は法人化に必要な財産に 充当するため平成 14 年度から設けてきたが、今般の公益法人制度改革において、 本会が目指す一般社団法人(あるいは公益社団法人)の設立には必要がなくな った。そこで、法人化積立金を基にして特別事業基金を設立し、規程も整備し て本会にとって特別に重要な事業に対して支出できるようにした。

日本地震工学会 平成 21 年度収支予算 (案)

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単/	٠.	ш١
(半)	<u>v.</u> :	门上

科目 予算額 前期決算額 増減 構奏 会費等収入 17,820,000 17,164,750 655,250 正会員年会費 12,000,000 11,820,000 180,000 1,200名×10,000円(4/1現在1149名) 学生会員年会費 270,000 186,750 83,250 120名×3,000円 or 1,000円(4/1現在80名) 正会員入会金 50,000 28,000 22,000 50名×1,000円 一般事業収入 1,040,000 903,580 136,420 論文事業収入 800,000 700,000 30,000 会話広告収入 適可等業収入 200,000 170,000 30,000 会話広告収入 資料頒布収入 2670,000 1,937,000 633,040 資料販売収入 資料頒布収入 500,000 61,960 38,040 資料販売収入 資料頒布収入 500,000 0 600,000 全京大のののののののののののののののののののののののののののののののののののの		収入の部			
正会員 年会費	科目	予算額	前期決算額	増 減	備 考
学生会員 年会費 法人会員 年会費 正会員 入会金 270,000 5,500,000 28,000 120名×3,000円 or 1,000円 (4/1現在80名) 100団体 (4/1現在91団体) 50名×1,000円 一般事業収入 高文事業収入 高音研究事業収入 200,000 調査研究事業収入 200,000 調査研究事業収入 2,670,000 高力模収入 2,570,000 2,570,000 61,960 38,000 2,571,000 61,960 38,000 62料頒布収入 300,000 62料頒布収入 300,000 62料頒布収入 300,000 62料頒布収入 600,000 600,000 600,000 600,000 600,000 668,500 8か加費収入 600,000 600,000 668,500 8か加費収入 1,250,000 8約組会収入 800,000 61,260 800,000 62,771,500 800,000 668,500 800,000 80	会費等収入	17,820,000	17,164,750	655,250	
法人会員 年会費 正会員 入会金 5,500,000 50,000 5,130,000 28,000 370,000 22,000 100団体(4/1現在91団体) 一般事業収入 協文事業収入 活作収入 調査研究事業収入 資料頒布収入 参加費収入 1,040,000 200,000 903,580 700,000 136,420 30,000 論文集投稿料収入 会誌広告収入 研究委員会主催行事収入 企画事業収入 参加費収入 参加費収入 2,670,000 2,570,000 1,998,960 61,960 33,000 671,040 633,000 資料販売収入 603,000 資料販売収入 603,000 資料販売収入 600,000 633,000 633,000 支半支十一,講演会,講習会等参加費収入 600,000 資料販売収入 600,000 600,000 600,000 資料販売収入 600,000 1,100,000 600,000 資料販売収入 600,000 大会参加費収入 430,000 大会参加費収入 430,000 大会参加費収入 430,000 150,000 表参加費収入 888,500 無額会参加費収入 888,500 無額会参加費収入 480,000 上会参加費収入 480,000 地震工学シンポジウム運営委員会より 480,000 地震工学シンポジウム運営委員会より 480,000 地震工学シンポジウム運営委員会より 480,000 中別事業基金に充当 500,000 大のののの 600,000 特別事業基金に充当 500,000 大のののの 600,000 特別事業基金に充当 500,000 大の資料販売収入 当期収入合計(A) 前期繰越金(B) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期線越金(B) 6,518,875 9,213,314 △ 2,694,439	正会員 年会費	12,000,000	11,820,000	180,000	1,200名×10,000円(4/1現在1149名)
正会員 入会金 50,000 28,000 22,000 50名×1,000円 一般事業収入 1,040,000 903,580 136,420 論文事業収入 800,000 700,000 100,0000 論文集投稿料収入 200,000 170,000 30,000 会誌広告収入 30,000 会誌広告収入 30,000 会誌広告収入 30,000 会誌広告収入 30,000 公事業収入 2,670,000 1,998,960 671,040 (資料頒布収入 2,570,000 1,937,000 633,000 セミナー,講演会,講習会等参加費収入 (2,570,000 1,937,000 633,000 セミナー,講演会,講習会等参加費収入 (2,570,000 0 0 1,100,000 (資料頒布収入 500,000 0 0 500,000 (資料販売収入 500,000 0 0 500,000 (資料販売収入 600,000 0 600,000 (資料販売収入 500,000 0 0 500,000 (資料販売収入 500,000 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	学生会員 年会費	270,000	186,750	83,250	120名×3,000円 or 1,000円(4/1現在80名)
一般事業収入	法人会員 年会費	5,500,000	5,130,000	370,000	100団体(4/1現在91団体)
論文事業収入 200,000 170,000 100,000	正会員 入会金	50,000	28,000	22,000	50名×1,000円
広告収入	一般事業収入	1,040,000	903,580		
調査研究事業収入		800,000	700,000		
金画事業収入 2,670,000 1,998,960 671,040	広告収入	200,000	170,000	30,000	会誌広告収入
 資料頒布収入	調査研究事業収入	40,000	33,580	6,420	研究委員会主催行事収入
参加費収入 2,570,000 1,937,000 633,000 セミナー,講演会,講習会等参加費収入 1,100,000 0 1,100,000 百利頭 1,250,000 1,100,	企画事業収入	2,670,000	1,998,960	,	
阪神淡路15周年記念事業収入 1,100,000 0 1,100,000 資料販売収入 500,000 0 600,000 参加費収入 600,000 0 600,000 参加費収入 600,000 1,460,000 参加費収入 1,890,000 1,460,000 430,000 大会参加費収入 1,250,000 1,100,000 150,000 懇親会収入 300,000 211,500 88,500 懇親会を参加費収入 15,930,000 272,788 15,657,212 預金利子 0 28,161 公28,161 公28,161 寄付金収入 300,000 0 120,000 公120,000 地震災害調査基金取崩 0 120,000 公120,000 地震災害調査基金取崩 15,000,000 0 15,000,000 特別事業基金に充当 500,000 が特別事業基金に充当 500,000 では、100,000 特別事業基金に充当 500,000 では、100,000 特別事業基金に充当 500,000 では、100,000 特別事業基金に充当 500,000 では、100,000 では		100,000	61,960	38,040	資料販売収入
資料頒布収入 600,000 0 500,000 資料販売収入 600,000 0 600,000 参加費収入 600,000 0 600,000 参加費収入		2,570,000	1,937,000	633,000	セミナー,講演会,講習会等参加費収入
参加費収入 600,000 0 600,000 参加費収入 年次大会事業収入 3,440,000 2,771,500 668,500 参加費収入 1,890,000 1,460,000 430,000 大会参加費収入 地震工学フェアー収入 1,250,000 1,100,000 150,000 懇親会収入 300,000 211,500 88,500 懇親会参加費収入 雑収入 15,930,000 272,788 15,657,212 預金利子 0 28,161 △ 28,161 高付金収入 300,000 0 300,000 地震災害調査基金取崩 0 120,000 △ 120,000 上震災害調査基金取崩 15,000,000 0 15,000,000 特別事業基金に充当 500,000 0 15,000,000 特別事業基金に充当 500,000 で対験路15周年記念事業費に充当 その他雑収入 130,000 124,627 5,373 過去の資料販売収入 当期収入合計(A) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 △ 2,694,439	阪神淡路15周年記念事業収入	1,100,000	0	, ,	
年次大会事業収入 3,440,000 2,771,500 668,500 参加費収入 1,890,000 1,460,000 430,000 大会参加費収入 1,250,000 1,100,000 150,000 懇親会収入 300,000 211,500 88,500 懇親会参加費収入 15,930,000 272,788 15,657,212 預金利子 0 28,161 公28,161 寄付金収入 300,000 位 120,000 公120,000 地震災害調査基金取崩 0 120,000 公120,000 特別事業基金に充当特別事業基金取崩 500,000 0 500,000 阪神淡路15周年記念事業費に充当その他雑収入 130,000 124,627 5,373 過去の資料販売収入 当期収入合計(A) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 公 2,694,439		500,000	0	,	
参加費収入 地震工学フェアー収入 1,250,000 1,100,000 150,000 211,500 88			0		
地震工学フェアー収入 300,000 1,100,000 150,000 88,500 懇親会収入 300,000 211,500 88,500 懇親会参加費収入 15,930,000 272,788 15,657,212 預金利子 0 28,161 公28,161 公28,161 おける収入 300,000 の 300,000 地震災害調査基金取崩 0 120,000 公120,000 特別事業基金に充当 15,000,000 特別事業基金に充当 500,000 の 500,000 特別事業基金に充当 500,000 では、 500,000 下神淡路15周年記念事業費に充当 2の他雑収入 130,000 124,627 5,373 過去の資料販売収入 当期収入合計(A) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 公2,694,439		3,440,000	2,771,500		
懇親会収入 300,000 211,500 88,500 懇親会参加費収入 15,930,000 272,788 15,657,212		1,890,000	1,460,000	430,000	大会参加費収入
雑収入 15,930,000 272,788 15,657,212 預金利子 0 28,161 △ 28,161 寄付金収入 300,000 ゆ 120,000 地震工学シンポジウム運営委員会より 地震災害調査基金取崩 0 120,000 △ 120,000 特別事業基金に充当 特別事業基金取崩 500,000 の 500,000 阪神淡路15周年記念事業費に充当 その他雑収入 130,000 124,627 5,373 過去の資料販売収入 当期収入合計(A) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 △ 2,694,439			1,100,000	150,000	
預金利子 300,000 0 300,000 地震工学シンポジウム運営委員会より 地震災害調査基金取崩 0 120,000 △ 120,000 特別事業基金に充当 500,000 で神談路15周年記念事業費に充当 7.373 過去の資料販売収入 当期収入合計(A) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 △ 2,694,439	懇親会収入	300,000	211,500	88,500	懇親会参加費収入
 寄付金収入 地震災害調査基金取崩 法人化積立金取崩 特別事業基金取崩 その他雑収入 当期収入合計(A) 有518,875 9,213,314 公 300,000 地震工学シンポジウム運営委員会より 120,000 15,000,000 15,000,000 15,000,000 15,000,000 15,000,000 15,000,000 15,000,000 15,000,000 15,000,000 16,000,000 15,000,000 15,000,000 15,000,000 16,000,000 16,000,000 10,000,000 10,000,000 10,000,000 10,000 10,000<!--</td--><td>雑収入</td><td>15,930,000</td><td>272,788</td><td>15,657,212</td><td></td>	雑収入	15,930,000	272,788	15,657,212	
地震災害調査基金取崩 0 120,000 △ 120,000 法人化積立金取崩 15,000,000 0 15,000,000 特別事業基金に充当 500,000 阪神淡路15周年記念事業費に充当 7000維収入 130,000 124,627 5,373 過去の資料販売収入 当期収入合計(A) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 △ 2,694,439	預金利子	0	28,161	\triangle 28,161	
法人化積立金取崩 15,000,000 0 15,000,000 特別事業基金に充当 500,000 0 500,000 阪神淡路15周年記念事業費に充当 2の他雑収入 130,000 124,627 5,373 過去の資料販売収入 当期収入合計(A) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 △ 2,694,439		300,000	0	300,000	地震工学シンポジウム運営委員会より
特別事業基金取崩 500,000 0 500,000 阪神淡路15周年記念事業費に充当 その他雑収入 130,000 124,627 5,373 過去の資料販売収入 当期収入合計(A) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 △ 2,694,439	地震災害調査基金取崩	0	120,000		
その他雑収入 130,000 124,627 5,373 過去の資料販売収入 当期収入合計(A) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 △ 2,694,439	法人化積立金取崩	15,000,000	0	15,000,000	特別事業基金に充当
当期収入合計(A) 42,000,000 23,111,578 18,888,422 前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 △ 2,694,439	特別事業基金取崩	500,000	0	•	
前期繰越金(B) 6,518,875 9,213,314 △ 2,694,439	その他雑収入	130,000	124,627	5,373	過去の資料販売収入
		42,000,000	23,111,578	18,888,422	
	前期繰越金(B)	6,518,875	9,213,314	\triangle 2,694,439	
大人 C 日 日 (C / T (A) 「 L)	収入合計(C)=(A)+(B)	48,518,875	32,324,892	16,193,983	

-l- 111 - Im				
支出の部				
科目	予算額	前期決算額	増 減	備 考
一般事業費	5,730,000	6,083,307	△ 353,307	
論文事業費	1,070,000	958,980	111,020	
委員会費	170,000	176,340	△ 6,340	会議費, 旅費
人件費	600,000	679,530	\triangle 79,530	アルバイト(週2日)
その他	300,000	103,110	196,890	特集号CD-ROM費
会誌事業費	2,220,000	2,156,630		
委員会費	120,000	63,645	56,355	会議費,取材費,旅費
印刷費	1,600,000	1,651,335	\triangle 51,335	年2回発行
発送費	500,000	441,650	58,350	年2回発送
国際交流事業費	520,000	1,551,681	△ 1,031,681	
委員会費	220,000	344,651	△ 124,651	会議費, 旅費
海外広報費	100,000	629,268	\triangle 529,268	Web英語化費用
IAEE支援費	200,000	577,762	\triangle 377,762	会議費
調査研究事業費	1,920,000	1,416,016	503,984	
研究統括委員会	50,000	0	50,000	会議費
地震災害対応委員会	50,000	126,182	\triangle 76,182	会議費
研究委員会	1,620,000	1,289,834	330,166	40万円×4委(被害復興・津波・微動・リモセン)+2万円(原子力)
新規研究委員会(期中)	200,000	0		20万円×1委
10周年記念事業費	50,000	0	50,000	
会議費	50,000	0	50,000	会議費

				(単位:円)
	- tota it -	支		T 100 to
科目	予算額	前期決算額	増減	備 考
阪神淡路15周年記念事業費	1,100,000	0	1,100,000	
会議費	200,000	0		会議費, 旅費
会場費	300,000	0		企画事業会場費
資料作製費	400,000	0		資料印刷製本費
企画事業費	200,000	0	200,000	企画事業費
地震工学シンポ事業費	0	0	0	
会議費	0	0		過去開催の剰余金で運営
表彰関係費	200,000	195,544	4,456	
委員会費	50,000	101,680		会議費, 旅費
賞状作成費	150,000	93,864		論文奨励賞, 若手表彰
企画事業費	2,670,000	2,212,570	457,430	
委員会費	720,000	499,940		会議費, 旅費
会場費	500,000	681,815		
資料作製費	500,000	517,374		資料印刷製本費
講師旅費	150,000	132,160		講師旅費
講師謝礼	600,000	249,999		講師謝礼
維費	100,000	116,020	\triangle 16,020	アルバイト代等
他団体共催費	100,000	15,262	84,738	
年次大会事業費	3,440,000	3,169,991	270,009	
委員会費	300,000	0	300,000	
会場費	550,000	893,162	\triangle 343,162	会場費, 備品費, 看板代等
資料作製費	1,000,000	926,520	73,480	大会梗概集印刷製本費
懇親会費	300,000	224,920	75,080	懇親会開催費
地震工学フェアー	500,000	556,719	\triangle 56,719	
維費	790,000	568,670	221,330	アルバイト他
IT事業費	1,600,000	1,533,627	66,373	
委員会費	100,000	54,117	45,883	会議費
業務委託費	1,200,000	1,202,310	\triangle 2,310	システム維持, web維持
サーバー費	300,000	277,200	22,800	維持費
広報費	300,000	625,118	△ 325,118	
和文パンフレット	200,000	178,868	21,132	改定費
英文パンフレット	100,000	446,250	\triangle 346,250	改定費
管理費	11,410,000	10,685,440	724,560	
地代家賃	1,850,000	1,811,289	38,711	家賃, 共益費, 光熱費等
人件費	5,100,000	5,323,622	\triangle 223,622	事務局職員、アルバイト
事務消耗品費	900,000	823,414	76,586	コピー機リース費,事務用品費,消耗品費
会計処理費	400,000	315,000	85,000	税理士監査費,会計ソフトリース費,監事監査費
総会開催費	400,000	337,124	62,876	会議室, 旅費, コピー他
理事会開催費	900,000	809,563	90,437	会議費, 旅費
法人化準備委員会	400,000	11,550	388,450	会議費,弁護士費用,旅費
将来検討委員会	50,000	0	50,000	委員会費, 昨年度は理事会費に含む
選挙管理委員会	280,000	264,765	15,235	会議費,郵送費
役員候補推薦委員会	220,000	92,740		会議費, 旅費
会員関連費	520,000	515,925	4,075	会費請求費, 会員証送付費, 名簿更新費
通信費	260,000	258,399		電話代, 資料発送費, 切手代等
雑費	130,000	122,049	7,951	銀行手数料, 清掃費等
固定資産取得	0	800,420	△ 800,420	
法人化積立金	0	0		平成20年度末で1500万円
特別事業基金	15,000,000	0		平成21年度開始(法人化積立金1500万円を充当)
地震災害調査基金	500,000	500,000		平成20年度末で148万円
運営基金	0	0		平成20年度末で40万円
当期支出小計(D)	42,000,000	25,806,017	16,193,983	
予備費(E)	6,518,875	0	6,518,875	
当期支出合計(F)=(D)+(E)	48,518,875	25,806,017	22,712,858	
当期収支差額(G)=(A)-(F)	\triangle 6,518,875	△ 2,694,439	△ 3,824,436	
次期繰越金(H)=(C)-(F)	0	6,518,875		

平成20年度事業報告書(案)

自 平成20年4月 1日

至 平成21年3月31日

日本地震工学会

〒108-0014 東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号

URL : http://www.jaee.gr.jp/

目 次

1.	会議		1
	1. 1	総会	
	1.2	理事会	
	1.3	将来問題検討委員会	
	1.4	主要会務	
2.	大会		19
		概要	
		学術講演会セッション	
3.	表彰		21
•		論文奨励賞	
4.		ニュース配信	21
••		会誌	
		ニュース配信	
5			23
٠.		論文集	20
		大会学術講演集	
6		活動	24
0.		会務関係	27
		会員関係	
		学術関係	
		于他 发 保 情報関係	
		事業関係	
		調査研究関係	
		共催団体関係	
_		災害調査派遣	0.0
7.		(告 (講習会・講演会・セミナー・見学会等)	29
		研究委員会主催	
		事業企画委員会主催	
		本会共催事業	
		本会後援・協賛事業	
8.		流事業	32
		国際交流事業	
		IAEE支援事業	
	. —	進言・要望・提言	
10		書・資料集	33
	9. 1	会誌・報告書・資料集	
		災害調査報告書	
11	. 会員	数の動向	34
	10. 1	会員数の移動	
	10. 2	2. 名誉会員	
12		監査会に関する事項	34
		 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
			35
	. 役員		

1. 会議

1.1 総会

開催年月日場 所		主要議事
2008. 5. 22	第1号議案	平成 19 年度事業報告案承認議決
建築会館ホール	第2号議案	平成 19 年度収支決算報告承認議決
	第3号議案	平成 20 年度次期会長・副会長・監事選挙結果報告承認議決
	第4号議案	平成 20 年度役員の選任承認議決
	第5号議案	平成 20 年度役員候補推薦委員会委員の選任承認議決
	第6号議案	平成 20 年度選挙管理委員会委員の選任承認議決
	第7号議案	平成 20 年度事業計画案承認議決
	第8号議案	平成 20 年度収支予算案承認議決
	第9号議案	名誉会員推挙承認議決

1.2 理事会

1.2 埋事会	
開催年月日 場 所	主要議事
第67回	議案・審議
2008. 4. 8	1. 第66回理事会議事録案承認
建築会館	2. 入会者退会者および除名者承認可決
304会議室	3.14WCEEへの寄付と出展依頼承認可決
	4. 平成19年度決算案と平成20年度予算案承認可決
	5. 第8回通常総会議案承認可決
	6. 会員特典に関する内規承認可決
	7. 地震災害対応活動に関する規程承認可決
	報告・懇談事項
	1. 会務報告
	2. 歴代会長懇談会報告
	3. 役員選挙結果報告
	4. 次期理事候補者と役員分掌案について懇談
	5. 次期選挙管理委員会委員候補者について報告
	6. 次期役員候補推薦委員会委員候補者について報告
	7. 事業企画主催によるセミナー開催報告
	8. 第8回通常総会の進め方・資料について懇談
	10. 日本地震工学シンポジウム運営基金設立について懇談
	11. 新規研究委員会(津波災害軽減)委員公募について報告
	12. 研究統括委員会、研究委員会規程見直しについて懇談
第68回	議案
2008. 5. 13	1. 第67回理事会議事録案承認
建築会館	2. 入会者退会者・除名者修正承認可決
304会議室	3. 委員委嘱承認可決
	4. サーバー更新機の購入承認可決
	5. 研究統括委員会運営規程改正承認可決

37 -1-

	6. 後援承認可決
	地盤工学会東北支部から「1978年宮城県沖地震30周年記念シンポジウム」
	開催
	報告・懇談事項
	1. 会務報告
	2. 会計監査報告
	3. 事業企画主催によるセミナー開催報告
	4. 論文集第8巻第2号発刊報告
	5.2008年度大会(仙台)開催の概要について報告
	6.会誌第8号企画案について報告
	7. 研究統括委員会関連規程と運用細則について懇談
	8.14WCEE 寄付・出展呼びかけについて懇談
	9. 予算の流用について懇談
巻 の同	
第69回	議案 1. 然如同理事人港東祖 <i>安</i> ·邓
2008. 6. 3	1. 第68回理事会議事録案承認
建築会館	2. 第7回通常総会議事録案承認可決
302・303会議室	3. 入会者退会者承認可決
	4. 委員委嘱承認可決
	5. 協賛承認可決
	日本機械学会から「計算力学技術者認定等講習会」開催
	6. 合同連絡会議設立参加承認可決
	土木学会から「四川大地震復旧技術支援連絡会議」設置に伴う団体合同に
	よる設立参加(主体:土木学会、日本地震工学会、日本建築学会、地盤工
	学会、日本地震学会)
	報告・懇談事項
	1. 会務報告
	2. 事業企画主催によるセミナー開催報告
	3.14WCEE寄付・出展呼びかけについて報告
	4. 平成20年度事業計画・収支予算・委員名簿の見直し報告
	5.2008年大会(仙台) 開催計画及び募集案内について報告
	6.2010年~2011年予定事業計画について報告
	7.日本地震工学会の国際化、特に15WCEE開催提案について懇談
	8.四川大地震への対応について懇談
	9. JAEE英文パンフレット作成について懇談
	10. 若手会員(学生会員の卒業時)優遇措置について懇談
	11. 日本地震工学会法人化対応について懇談
	12. 理事会予定・進め方・担当について懇談
第70回	14. 性事会 た・進め力・担当に グ・・ (徳秋 議案
第70回 2008. 7. 31	職采
建築会館	2. 入会者退会者承認可決
302・303会議室	3. 委員委嘱承認可決
	4. 共催・協賛承認可決
	1) 共催
	日本学術会議から第58回「理論応用物理連合講演会」開催

38 - 2 -

2) 協賛

物理探査学会から「物理探査学会創立60周年記念シンポジウム・記念式 典」開催

報告 • 懇談事項

- 1. 会務報告
- 2. 会計監查報告
- 3.14WCEE寄付募金状況・出展応募状況報告
- 4.2008年大会(仙台) 開催準備状況報告
- 5. 会誌第8号発刊報告
- 6. JAEE和文・英文パンフレット作成について報告
- 7. 法人会員新規「法人登録会員」制度について懇談
- 8. 事務局職員交代報告
- 9.14WCEEブース出展企画および15WCEE開催提案等について懇談
- 10. 四川大地震・岩手宮城内陸地震への対応について懇談
- 11. 地震災害緊急対応体制の整備について懇談
- 12. 新規研究委員会(原子力関係)設置について懇談
- 13. 東京都防災展への出展及び新規事業企画について懇談
- 14. 猿橋賞の推薦について報告

第71回 2008.10

2008. 10. 2

建築会館

302·303会議室

議案

- 1. 第70回理事会議事録案承認
- 2. 入会者退会者承認可決
- 3. 委員委嘱承認可決
- 4. 共催·後援承認可決
 - 1) 共催

IAEEから「最近の中・日における地震災害の報告会・交流会」開催

- 2) 後援
 - (1) 宮城県沖地震対策研究協議会から第3回「震災対策技術展/自然災害 対策技術展」宮城開催
 - (2) 日本建築学会から「増大する地震動レベルと建物の終局耐震性の課題と展望」開催
 - (3) 非特定営利活動法人国境なき技師団から「第4回定例セミナー」開催

報告・懇談事項

- 1. 会務報告
- 2. 会計監查報告
- 3.2008年度組織図・委員会名簿について報告
- 4. 事務局新規パート採用について報告
- 5. 東京都防災展及び中・日地震災害報告交流会開催報告
- 6.2008年大会(仙台) 開催準備報告
- 7. JAEE英文パンフレット作成報告
- 8.14WCEE寄付募金状況・JAEE出展について報告
- 9. 文部科学省・地震調査研究推進本部による「新たな地震調査研究の推進について」意見募集対応について報告
- 10. 将来計画検討委員会設置について懇談
- 11. 新規研究委員会(原子力関係)の設置提案懇談

39 - 3 -

	12. 各研究委員会活動状況について報告
	13. 事業企画新規事業について懇談
	14. 地震災害緊急対応体制の整備について懇談
	15. 会員増強対策について懇談
	16. ワークショップ等の開催手続き簡素化について懇談
	17. 出版物著作権について懇談
	18. 東大地震研究所から「共同利用・共同研究拠点の認定要請について」対応
	について報告
	19. 各研究委員会アクションプラン点検について懇談
第72回	議案
2008. 11. 20	1. 第71回理事会議事録案承認
建築会館	2. 入会者退会者承認可決
304会議室	3. 予算流用承認可決
304公成主	4. 後援承認可決
	4. 後後承認可伏 (1) 日本耐震グランプリ実行委員会から「第2回日本耐震グランプリ 開催
	(2) 震災予防協会から「第28回震災予防協会主催講演会」開催
	(3) 土木学会から「第10回地震マネジメントセミナー」開催
	(4) 国際風工学会から「各種災害リスク低減のためのシンポジウム」開催
	(5) 関西地震観測研究会から「地震防災フォーラム 08-文化遺産を地震から
	守る」開催
	報告・懇談事項
	1. 世界地震工学会(IAEE)総会開催報告
	2. 会務報告
	3. 事業企画主催「Eディフェンス橋梁実験見学会」開催報告
	4. 2008年大会(仙台)開催報告
	5. 14WCEE STS・出展について開催報告
	6. 将来計画検討委員会開催報告
	7. 事業企画新規行事の企画について懇談
	8. 会誌第9号企画報告及び会誌投稿要領について懇談
	9. 論文集編集委員会活動状況報告、特に会員・非会員の閲覧差別化、投稿規
	程・論文奨励賞選考方法について
	住・論文英励員選号方法について 10. 電子メディア委員会活動状況報告
	10. 電子グライア安貞芸品動状况報告 11. 会員増強策について懇談
	11. 云貝増短束について恋談 12. 研究統括委員会活動状況報告
	13. 京大防災研究所からの「共同利用・共同研究拠点化について」要請への対応について報告
第73回	旅客
第73回 2008. 12. 18	職采
2006.12.16 建築会館	2. 入会者退会者承認可決
304会議室	3. 後援承認可決
304云硪至	3. 俊 接
	震災対策技術展/自然災害対策技術展 横浜会場実行委員会から第13
	回 震災対策技術展/自然災害対策技術展 横浜開催

40 - 4 -

(2) 日本建築学会から最新の地盤震動研究を活かした強震波形の作成法開催

報告・懇談事項

- 1. 会務報告
- 2. 会計監查報告
- 3. 各委員会構成について報告
- 4. 選挙管理委員会開催報告
- 5. 事業企画行事開催及び新規事業企画開催について報告
- 6.2008年大会(仙台) 開催報告
- 7. IAEE 日本代表について懇談
- 8. 将来計画検討委員会開催報告
- 9. 論文集限定公開への実施計画について報告
- 10. IAEE 事務局支援について懇談
- 11. 日本地震工学シンポジウム開催準備について懇談
- 12. 各研究委員会活動状況報告および微動利用研究委員会新規立ち上げについて懇談
- 13. 会員特典と出版物の扱いについて懇談
- 14. 理事会予定について懇談

第74回

2009. 2. 5

建築会館

202会議室

議案

- 1. 第73回理事会議事録案承認
- 2. 入会者退会者承認可決
- 3. 委員会委員委嘱承認可決
- 4. 予算流用承認可決
- 5. 共催·後援·協賛承認可決
 - 1) 共催
 - (1) 第8回 国土セイフティネットシンポジウムー本格運用から1年 経った緊急地震速報ー開催
 - (2) 平成 19·20 年度橋梁耐震実験研究 研究成果発表会開催
 - 2) 後援

防災シンポジウム「いのち・つなぐ・ちから:大学発!過去の地震 災害から学び、地域の防災力を高めよう」開催

3) 協賛

第 9 回 SEGJ 国際シンポジウム Imaging and Interpretation –Science and Technology for Sustainable Development-

報告・懇談事項

- 1. 会務報告
- 2. 役員名簿更新報告
- 3. 役員候補推薦委員会開催報告
- 4. 事業企画行事開催および新規事業企画開催について報告
- 5. 会誌発刊の報告
- 6. IAEE関係(日本代表・事務局支援)報告
- 7. 会計報告・会費未納者・決算見込み報告
- 8. 今年度報告・次年度計画・予算作成報告

41 - 5 -

	9. 将来計画検討委員会中間報告
	10. 論文奨励賞受賞者報告
	11. 地震災害発生時の対応体制改善について懇談
	12. Web編集体制の変更報告
	13. 日本地震工学シンポジウム開催準備状況報告
	14. 2009年 J A E E 大会開催について報告
	15. 2009~2011年のスケジュールと2009年度役員構成について懇談
第75回	議案
2009. 3. 12	1. 第74回理事会議事録案承認
建築会館	2. 入会者退会者承認可決
301会議室	3. 後援承認可決
	(1) 第3回「地域防災防犯」展大阪開催
	(2) 第1回 震災対策技術展/自然災害対策技術展 静岡
	(3) 金井清先生追悼シンポジウムー地震動研究 これまでこれからー
	報告・懇談事項
	1. 会務報告
	2. 委員会構成について報告
	3. 会計報告・決算見込み報告
	4. 選挙実施報告
	5. 行事開催報告
	6. IAEEからの依頼報告
	7. 今年度報告と次年度計画・予算について報告
	8. 将来計画検討委員会報告
	9. 新規行事の企画報告
	11. 災害対応規程について懇談
	12. 新規研究委員会(リモセン技術)の設立について懇談
	13. 日本地震工学シンポジウムと設立10周年事業について懇談
	14. 2009年 J A E E 大会開催について報告
	15. 2009年度理事候補について報告
	16. 総会スケジュールについて懇談
<u> </u>	10. 小中国 / / / 一 / / / / /

会合	開催数
総会	1回
理事会	9 回

42 - 6 -

1.3 将来計画検討委員会		
第1回	議事	
2008. 10. 20	(1) 主旨説明	
建築会館	(2) 欠席委員の意見紹介	
303 会議室	(3) 震災予防協会との関連について報告	
	(4) 過去の活動実績等の概要報告	
	(5) 懇談	
	・設立理念について	
	・国際交流について	
	・他学会との関係について	
	・日本地震工学シンポジウムの開催とIAEE支援について	
第2回	議事	
2008. 11. 20	(1) 議事録確認	
建築会館	(2) 欠席委員の意見紹介	
304 会議室	(3) 過去の活動実績について報告	
	・大会等の発表分野の分析について	
	・財務内容および事業ごとの収支について	
	(4) 懇談	
	・将来の学会事業の想定と財務内容について	
	・事務局経費について	
	・会員増強策について	
	・法人化について、特に目的・意義について	
	(5) その他	
	・日本地震工学シンポジウムの準備状況について報告	
第3回	議事	
2008. 12. 11	(1) 議事録確認	
建築会館	(2) 欠席委員の意見紹介	
307 会議室	(3) 報告	
	・EERI研究協力協定に関する資料について報告	
	・財務内容および事業ごとの収支について	
	(4) 懇談	
	・大会等の発表分野の分析および他学会との連携	
	・学会事業の運営方針と財務	
	・役員構成・理事会の体制	
	・会員増強	
	(5) その他	
	・日本地震工学シンポジウムの準備状況について報告	
	・IAEE事務局長支援について報告	
	・建築学会の中長期計画資料の紹介	

43 - 7 -

第4回	議事
2009. 2. 5	(1) 議事録確認
建築会館	(2) 欠席委員の意見紹介
202 会議室	(3) 懇談
	他学会とのコラボレーション
	• 会員構成
	・将来の地震工学会の性格の設定
	・将来の地震工学会の事業と財務
	• 会員増強
	・研究委員会のあり方
	・役員構成・理事会の体制
	社会貢献・表彰制度
	・法人化ロードマップ
	(4) その他
	・2009年~2011年スケジュールについて報告
	・今後のスケジュール、報告書執筆などについて検討
第5回	第5回将来計画検討委員会・第2回法人化検討委員会合同委員会開催
2009. 4. 2	議事
建築会館	(1) 議事録確認
306 会議室	(2) 欠席委員の意見紹介
(2009 年度事	(3) 懇談
業)	• 報告書案
	・収支想定
	・法人化ロードマップ
	・代議員制度と選挙制度
	(4) その他
	・今後の方針について検討、特に積み残し事項の処理等について

-8-

1.4 主要会務(平成20年4月~平成21年3月)

1.4 主要会務	(平成 20 年 4 月~平成 21 年 3 月)
04月01日(火)	· JAEE NEWS No.162 配信
04月03日(木)	・ 拡大会長・副会長会議開催 北川会長、鈴木次期会長他 平成 20 年度予
	算審議、平成20年度役員候補について(於建築会館306会議室 16時
	00 分~18 時 30 分)
04月08日(火)	· 会長·副会長会議 北川会長、小長井副会長、鈴木(祥)副会長(於 建
	築会館 304 会議室 16 時 00 分~17 時 00 分)
	• 第 67 回理事会開催 北川会長、鈴木次期会長他(於 建築会館 304 会議
	室 17 時 00 分~20 時 55 分)
04月11日(金)	・ セミナー「強震動予測レシピー新潟県中越沖地震や能登半島地震などに
, , , , , , , , ,	学ぶ一」開催 講師 入倉孝次郎 (京大名誉教授) 他5名 (於 大阪工業
	大学摂南大学大阪センター 9時45分~17時00分)参加者53名
	 臨時 JAEE NEWS 配信(セミナー開催の案内)
04月14日(月)	 本会名誉会員金井清先生逝去(4月13日)通夜15日、告別式16日11時
	30 分より、東京メモリードホールにて 北川会長他役員出席、弔電、供
	花
04月15日(火)	・ 会計税理士(涌井税理会計事務所)3月定期監査及び決算処理実施(於本
	会事務所 10 時 30 分~17 時 30 分) 鈴木総務・会計理事税理士と懇談
	· 事業企画委員会開催 若松委員長他 (於 建築会館 305 会議室 16 時
	00 分~18 時 00 分)
	・ JAEE NEWS No.163 配信
04月22日(火)	
04 月 22 日 (久)	・ セミナー「地震発生確率〜埋論から実践まで〜」開催 講師 島崎邦彦 東大教授他2名、(於 建築会館ホール 14時00分〜17時00分)参加者
	135名
	・ 本会正会員、法人会員、日本地震工学会第8回通常総会ならびに講演会 (通知)
	- ・ 臨時 JAEE NEWS 配信 (通常総会 (委任状) 開催案内)
04月24日(木)	・ 平成 19 年度事業報告 (案)・収支決算 (案) 監事監査会 亀田弘行監事、
04月24日(水)	
	工藤一嘉監事、小林会計理事、鈴木総務・会計理事、石川総務理事、勝
	保総務理事出席 (於 建築会館 306 会議室 17 時 00 分~19 時 00 分)
04月25日(金)	· 会誌編集委員会開催 志波理事·委員長他(於 建築会館 303 会議室 17
	時 00 分~18 時 30 分)
	・ 臨時 JAEE NEWS 配信 (14WCEE 開催の案内)
05月00日(*)	・ 論文集第8巻第2号発刊
05月01日(木)	· JAEE NEWS No.164 配信
05月10日(土)	・ 市民向けフォーラム「1968 年十勝沖地震 40 年防災フォーラムー過去に学
	び、将来に備える一」開催 共催 本会、1968 年十勝沖地震 40 年防災
	フォーラム実行委員会、弘前大学他講師柳沢栄司東北大学名誉教授は8.4.4.4.4.4.1
	授他 3 名(於 八戸商工会館(青森県八戸市)13 時 30 分~17 時)参加
05 8 10 8 (8)	費無料、参加者 220 名
05月12日(月)	・ 中国・四川省大地震発生
OF H 10 H (J.)	・ 臨時 JAEE NEWS 配信 (通常総会委任状返信要請案内)
05月13日(火)	・ 会長・副会長会議 北川会長、鈴木次期会長、小長井副会長、鈴木(祥)
	副会長(於建築会館304会議室 16時00分~17時00分)
	· 第 68 回理事会開催 北川会長、鈴木次期会長他(於 建築会館 304 会議

45 - 9 -

	室 17時00分~19時30分)
05月14日(水)	· 会計税理士(涌井税理会計事務所)4月定期監査実施(於 本会事務所
	10 時 30 分~18 時 00 分) 鈴木総務・会計理事税理士と懇談
05月15日(木)	· JAEE NEWS No.165 配信
	• Dear Director Wang, Dr. QI and all members of the Organizing Committee
	of 14WCEE あて、中国・四川省大地震に対するお見舞いを本会北川会長名
	にて発信 (家村副会長発信)
05月20日(火)	・ 臨時 JAEE NEWS 配信 (第 14 回世界地震工学会会議 正会員に寄付
	のお願い)
05月22日(木)	・ 日本地震工学会第 8 回通常総会開催 (於 建築会館ホール 13:15~
00 / 122 (/ 1/)	19:00)
	(1) 講演会 我が国の電力安定供給と地震防災
	講師 川原修司氏他2名
	(2)論文奨励賞授与式ならびに記念講演 受賞 三浦弘之氏他1名
	(3) 総会 第1号議案~第9号議案
	(3) 松云 第19 破衆 第39 破衆 (4) 名誉会員推挙式 青山博之名誉会員他8名
	(4) 泊省云貝推学八 月山時と右省云貝他 0 泊 総親会開催
05月26日(月)	・ 四川大地震復旧技術支援連絡会議の設立と代表団の派遣について
00月20日(月)	
	土木学会石井弓夫会長よりメール受信
	5 団体構成:土木学会、日本建築学会、地盤工学会、日本地震工学会、
	日本地震学会
	議長;濱田政則 土木学会前会長・日本地震工学会次期会長
	代表団長:濱田政則(本会次期会長・早稲田大学教授)他
	派遣期間:平成20年5月28日(木)~6月1日(日)
	本連絡会議は地元成都市の西南交通大学の要請に応じて、成都市で開
	催される交流会議に参加予定
	・ 勝俣総務理事、犬飼次期総務理事打合せ(於 本会事務所 16 時 00 分
	~18 時 00 分)
05月27日(火)	・ 第14回世界地震工学会会議 法人会員にブース出展のお願いメール配信
05月30日(金)	・ 国際委員会開催 笠井理事・委員長他 (於 東京工業大学イノベーション会
	議室 15:00~17:00)
06月02日(月)	・ JAEE NEWS No.166 配信
06月03日(火)	会長・副会長会議開催 鈴木会長、濱田次期会長、吉田副会長、武村副
	会長他総務理事(於 建築会館 306 会議室 16 時 00 分~17 時 00 分)
	・ 第 69 回理事会開催 鈴木会長、濱田次期会長他(於 建築会館 302・303
	会議室 17時00分~20時30分)
06月05日(木)	· 鈴木会長 日刊建設工業新聞社取材 (於 建築会館会議室 14 時 00 分
	~16 時 00 分)
06月09日(月)	· 会計税理士(涌井税理会計事務所)5月定期監査実施(於 本会事務所
	10 時 30 分~15 時 00 分)
	・ リモートセンシング技術を用いた災害軽減に関する研究委員会開催 山
	崎委員長他(於産業技術総合研究所 秋葉原事業所 東(第1)会議室 15
	時 00 分~17 時 30 分)
06月10日(火)	・ 事業企画委員会開催 中村理事・委員長他(於 建築会館 303 会議室 15
	時 00 分~18 時 00 分)
	14 00 33 10 % 00 337

- 10 -

	・四川大地震復旧技術支援連絡会議開催(本会他3学会) 鈴木代表委員・
	本会副会長、中埜良昭代表委員・本会地震災害委員会委員長出席(於弘
	済会館 4 階 梅(中西) 13 時 30 分~14 時 30 分)
06月14日(土)	・ 岩手・宮城内陸地震発生 (Mj7.2=暫定値)
	・ 岩手・宮城内陸地震・地震災害対応本部設置(土木学会災害対策本部長
	古木守靖土木学会専務理事)本会、土木学会、地盤工学会合同調査団結
	成(団長 風間基樹東北大教授、副団長 本会吉田望副会長他、三輪理事
	対応
06月15日(日)	・ 岩手・宮城内陸地震調査団現地調査(団長 風間基樹(東北大教授)、副
	団長 本会吉田望副会長他)
06月16日(月)	· JAEE NEWS No.167 配信
06月17日(火)	・ 臨時 JAEE NEWS 配信 (岩手・宮城内陸地震速報会開催)
06月19日(木)	・原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会(地震安全特別専
	門委員会 地震動分科会) 準備会開催 出席 亀田弘行先生、石川前理事、 時保然を理事、中共事業理事体(持、DNES 別籍 19 F 17 F 20 八 10
	勝俣総務理事、中村事業理事他(於 JNES 別館 12F 17 時 00 分~19 時 00 分)
06月20日(金)	・ 岩手・宮城内陸地震速報会開催(4 学会合同調査団)報告:吉田副会長他、
00万20日(並)	三輪理事、勝俣総務理事、鴫原事務局長出席(於 土木学会講堂 9時20
	分~11 時 30 分)
	・ 論文集編集委員会幹事会 吉田理事・委員長他(於 工学院大学会議室
	13 時 00 分~16 時 00 分)
	- ・ 論文集編集委員会開催 吉田理事・委員長他(於 工学院大学会議室
	16 時 00 分~18 時 30 分)
07月01日(火)	· JAEE NEWS No.168 配信
07月03日(木)	• 研究統括委員会開催 三輪調査研究理事、翠川調査研究理事(於 建築会
	館談話室 16 時 00 分~17 時 00 分)
	• 総務部会開催 鈴木会長、濱田次期会長、勝俣総務理事、犬飼総務理事、
	鈴木会計・総務理事他(於 建築会館 307 会議室 17 時 00 分~19 時 00
	分)
07月10日(木)	• 会計税理士(涌井税務会計事務所)6月定期監査実施(於 本会事務所
	13 時 30 分~17 時 00 分)
07月11日(月)	・ 原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会(地震安全特別専
	門委員会 地震動分科会) 準備会開催 出席 亀田弘行先生、石川前理事、
	勝俣総務理事、中村事業理事他(於 JNES 別館 12F 16 時 00 分~18
/ - / - / - / - / - / - / - / -	時 00 分)
07月14日(月)	・ 会誌編集委員会開催 志波理事・委員長、上半幹事他(於 建築会館 308
	会議室 17 時 00 分~18 時 30 分)
07月15日(火)	• 四川大地震復旧技術支援連絡会議開催(本会他6学会) 鈴木祥之代表
	委員・本会副会長、中埜良昭代表委員・本会地震災害委員会委員長、鴫
	原事務局長出席(於 土木学会 CD 会議室 13 時 00 分~14 時 00 分)
	・ 四川大地震復旧技術支援連絡会議復旧技術支援チーム報告会開催(本会他6学会) 講師 濱田政則議長、中埜良昭代表委員他(於 土木学会 AB
	他 6 字会) 講師 項田政則議長、中堂長昭代表安員他(於 エネ字会 AB 会議室 14 時 00 分 \sim 17 時 00 分)鈴木祥之代表委員・本会副会長出席
	一
	・ JAEE NEWS No.169 配信
	91111 111110 110.100 HIG

47 - 11 -

07月17日(木)	・ 国際委員会開催 笠井理事・委員長他(於 建築会館 307 会議室 16 時
	00 分~19 時 00 分)
	・ 原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会(地震安全特別専
	門委員会 地震動分科会) 準備会開催 出席 亀田弘行先生、石川前理事、
	中村事業理事他(於 JNES 別館 12F 16 時 00 分~17 時 30 分)
07月23日(水)	・ 会誌編集委員会打合せ 志波理事・委員長、上半幹事他(於 本会事務所
	17 時 30 分~19 時 00 分)
07月24日(木)	・ 岩手県北部沿岸地震発生
	・ 国際委員会 15WCEE WG 笠井理事・委員長、小檜山委員他(於 建築
	会館 308 会議室 9 時 00 分~12 時 00 分)
07 8 00 8 (4.)	
07月29日(火)	・ 鈴木会長、濱田次期会長、勝俣総務理事、鴫原事務局長打合せ(於 本会 まなて、10 kt 20 い 11 kt 20 い
	事務所 10 時 00 分~11 時 30 分)
	・ 新法人法への対応シンポジウム開催ー学協会の公益性の確立に向けてー
	日本学術会議主催 鈴木総務・会計理事、鴫原事務局長出席(於 日本学
	術会議講堂 13 時 30 分~17 時 30 分)
07月31日(木)	・ 会長・副会長会議開催 鈴木会長、鈴木副会長、西谷副会長、吉田副会
	長、武村副会長、総務理事他(於 建築会館 301 会議室 16 時 00 分~17
	時 00 分)
	・ 第 70 回理事会開催 鈴木会長、濱田次期会長他(於 建築会館 301 会議
	室 17 時 00 分~20 時 30 分)
	・ 日本地震工学会会誌第8号発行(平成20年7月31日)
08月00日(*)	- 論文集第8巻第3号発刊
08月01日(金)	・ 法人化検討委員会開催 鈴木会長、濱田次期会長、鈴木(康)理事・委
00 11 01 口 (亚)	員長、勝俣理事・委員、犬飼理事・委員、石川委員、鴫原事務局長(於
	建築会館 307 会議室 13 時 30 分~15 時 00 分)
	・ JAEE NEWS No.170 配信
00 H 06 H (→k)	· · · · ·
08月06日(水)	・ 鈴木会長、濱田次期会長、笠井理事・国際委員会委員長及び委員懇談(於
	建築会館 307 会議室 15 時 00 分~16 時 30 分)
08月07日(木)	・ 国際委員会開催 鈴木会長、笠井理事・委員長他(於 建築会館 306 会
	議室 9時30分~12時00分)
08月19日(火)	・ 原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会(地震安全特別専
	門委員会 地震動分科会)準備会開催 出席 亀田弘行先生、中村事業理
	事他 日本原子力学会、日本地震工学会 (於 JNES 別館13FA会議
	室 16時00分~18時30分)
	東京都防災展開幕 日本地震工学会出展(事業企画委員会企画担当)参
	加:東京都主催、東京都、新宿区、本会、土木学会、防災関係事業他 (会
	場:新宿駅西口広場イベントコーナー 期間:19日(火)~21日(木)
	10時~19時)
	・ IAEE日本事務局家村事務局長よりIAEE、JAEE共催による「最近の中・日
	の地震被害報告会・交流会」開催依頼受領
	・ 同 IAEE、JAEEによる「最近の中・日の地震被害報告会・交流会」共催
00 00 00 (40)	についてのメール審議(総務理事) Fight IARR NEW FIG (LARR LARRY HE IS OH LARRY HE IN THE MET HE IN
08月20日(水)	・ 臨時 JAEE NEWS 配信 (IAEE、JAEE共催「最近の中・日の地震被害報
	告会・交流会」開催案内)
08月21日(木)	・ 津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会開催 松冨委員長他

48 - 12 -

	(於 建築会館 307 会議室 13 時 30 分~16 時 30 分)
08月22日(金)	・ 人材派遣候補者と面談 野村愛子さん採用決定 (人材派遣会社㈱パソナ
	と契約)
08月25日(月)	· 事業企画委員会開催 中村理事·委員長他(於 建築会館307会議室 15
	時 00 分~18 時 00 分)
08月26日(火)	・ 派遣職員 野村愛子さん勤務
08月29日(金)	・ IAEE・JAEE 共催「最近の中・日の地震被害報告会・交流会」開催 鈴木
	会長挨拶、IAEE家村事務局長進行、LIU Yuchen 氏(中国国家地震局副局
	長)、QI Xiaozhai 博士(14WCEE 組織委員会事務局長)他 4 名紹介 報告
	会講師:WANG Zifa 博士(中国工程力学研究所長)、川島一彦教授(東京
	工業大学) 他 3 名 (於 建築会館ホール 14 時 00 分~17 時 00 分) 参
	加者 80 名
09月01日(月)	· JAEE NEWS No.171 配信
	・ 臨時 JAEE NEWS 配信(第6回日本地震工学会・大会-2008のお知る)
09月04日(木)	らせ) ・ 総務部会開催 鈴木会長、吉田副会長、勝俣総務理事、犬飼総務理事、
09月04日(水)	一
	新小松傍・云司 座事、鳴原事務向及(原) 建築云路 305 云巌至 17 時 00 分~19 時 00 分)
09月08日(火)	- リモートセンシング技術を用いた災害軽減に関する研究委員会開催 山
09 7, 00 11 (70)	
	812 号 10 時 00 分~12 時 00 分)
09月09日(火)	· 会計税理士(涌井税務会計事務所)7·8月定期監査実施(於 本会事務所
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	13 時 00 分~17 時 00 分)
09月10日(水)	・ JAEE 大会 2008 投稿原稿締切日を 15 日に延長する(大会実行委員会)
	・ 臨時 JAEE NEWS 配信 (JAEE 大会 2008 投稿延長・E-ディフェン
	ス橋梁耐震実験見学会のお知らせ)
09月15日(月)	・ JAEE 大会 2008 投稿原稿締切日
	・ JAEE NEWS No.172 配信
09月16日(火)	・ 文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調査研究推進本部事務局よ
	り「新たな地震調査研究の推進に関する意見募集」を受領。10月2日に会
	長名にて回答。他に志波理事・金子理事よりの意見を送付。
09月18日(火)	・ 臨時JAEE NEWS 配信 (文部科学省研究開発局地震・防災研究課地震調
	査研究推進本部事務局より「新たな地震調査研究の推進について」に関
	する意見募集について)
	・東京大学地震研究所より「共同利用・共同研究拠点の認定要請の発出に
	ついて依頼」を受領(10月8日回答)
09月22日(月)	• 将来計画検討委員会準備会開催 鈴木会長、濱田次期会長、勝俣総務理
	事、犬飼総務理事、鈴木総務・会計理事 鴫原事務局長(於 建築会館 304 会議室 16 時 00 分~18 時 00 分)
09月30日(火)	- 304 云巌至 16 時 00 分~18 時 00 分) - 井関職員退職
10月01日(水)	・ JAEE NEWS No.173 配信
10月01日(水)	- ** ・ 会長・副会長会議開催 鈴木会長、濱田次期会長、鈴木副会長、西谷副
	会長、武村副会長、吉田副会長、総務理事他(於 建築会館 302・303 会
	議室 16 時 00 分~17 時 00 分)
	・ 第 71 回理事会開催 鈴木会長、濱田次期会長他(於 建築会館 302・303

49 - 13 -

	会議室 17時00分~20時30分)
	・ 本会主催「E- ディフェンス橋梁耐震実験見学会」実施 会場:独立行政
	法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター 12 時 30 分~17 時
	00分(事業企画委員会企画)参加者 30名
10月08日(水)	・ 原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会(地震安全特別専
	門委員会 地震動分科会) 開催 出席 亀田弘行委員長、中村事業理事他
	(於 JNES別館13F AB会議室 16時00分~18時30分)
10月09日(木)	 会誌編集委員会開催 志波理事・委員長他(於 建築会館 308 会議室 15
10) 1 03 🛱 (기)	時 00 分~17 時 00 分)
10月12日(日)	・ 14 th World Conference on Earthquake Engineering (14WCEE)開催
10月12日(日)	
10 0 17 0 (A)	-OCTOBER 12-17, 2008 BEIJING, CHINA- 中国・北京市 (Beijing Jiuhua
10月17日(金)	SPA & Resort)笠井理事・国際委員会委員長他
	・ JAEE 特別セッション
	・ Part1. 免震構造技術(10 月 13 日)
	• Part2. 制振構造技術(10 月 14 日)
	・ Part3. 早期地震警報システム(10月 14日)
	・ JAEE として EXHIBITION 出展(10月 12日~10月 17日)
10月15日(水)	· JAEE NEWS No.174 配信
10月16日(木)	• 会計税理士(涌井税務会計事務所)9月定期監査実施(於 本会事務所10
	時 30 分~15 時 00 分)
10月20日(月)	将来計画検討委員会(第1回)開催 鈴木会長(委員長)他9名出席(於
	建築会館 303 会議室 16 時 30 分~18 時 40 分)
10月31日(金)	· JAEE NEWS No.175 配信
10 / 1 01 日 (並)	・ 平成 20 年度秋の叙勲 瑞宝章中綬章 柴田拓二名誉会員 鈴木会長より
	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
11月00日(*)	・ 論文集第 8 巻第 4 号発刊
11月03日(月)	・ 日本地震工学会 大会-2008(仙台) 開催
11月03日(月)	
~ (1)	源栄正人(理事)大会実行委員会委員長、大野晋幹事長他
11月05日(水)	・期間:2008年11月3日(月)~11月5日(水)
	・場所:仙台市情報・産業プラザ(仙台市青葉区)
	① 1978 年宮城県沖地震 30 周年シンポジウム開催(11 月 3 日)
	1. 特別招待講演:講師:柴田明徳東北大名誉教授、長谷川昭東北大名誉
	教授
	2. パネルディスカッション:太田裕本会名誉会員、鈴木浩平会長他
	参加者 300 名
	② 大会学術講演会開催:仙台市情報・産業プラザ多目的ホール、セミナ
	ールーム会議室他
	発表題数:178題、参加者延べ 280名
	③ 大会懇親会開催 参加者 75 名
	④ 地震工学技術フェア開催:仙台市情報・産業プラザ展示スペース
	展示出展社:8社
11月05日(水)	・ 津波災害の軽減方策のいま・みらい シンポジウム 主催本会「津波災害
11 /1 00 H (/JV)	の軽減方策に関する研究委員会」松冨英夫委員長他 講師:今村文彦(東
	北大学教授) 他 5 名 (於 みやぎ産業交流センター (夢メッセ MIYAGI) 会
	議室 13時 30分~16時 00分)参加者 40名

50 - 14 -

	本会後援【第3回「震災対策技術展」/「自然災害対策技術展」宮城】の				
	行事の1つとして開催				
11月11日(火)	• 役員候補推薦委員会開催 犬飼総務理事、勝俣総務理事、岩田委員他 10				
	名(於 建築会館 307 会議室 14 時 00 分~16 時 00 分)				
11月12日(火)	・ 京都大学防災研究所より「共同利用・共同研究拠点化について依頼」を				
	受領(12月1日回答)				
11月14日(金)	 George W. Housner カリフォルニア工科大学名誉教授 11 月 10 日逝去 				
11 71 14 日 (亚)	• JAEE NEWS No.176 配信				
11 [00 [(-1-)					
11月20日(木)	・ 将来計画検討委員会(第2回)開催 鈴木会長(委員長)、濱田次期会				
	長他(於 建築会館 304 会議室 13 時 30 分~15 時 30 分)				
	· 事業企画委員会開催 中村理事·委員長他(於 建築会館 305 会議室 15				
	時 00 分~18 時 00 分)				
	会長・副会長会議開催 鈴木会長、濱田次期会長、鈴木副会長、吉田副				
	会長、武村副会長、総務理事他(於建築会館304会議室 16時00分~				
	17 時 00 分)				
	· 第72回理事会開催 鈴木会長、濱田次期会長他(於 建築会館 304 会議				
	室 17 時 00 分~19 時 20 分)				
11月22日(土)	IAEE 事務引継ぎ及び JAEE との今後の方針について懇談 芳村理事 (IAEE)				
11月22日(上)					
	事務局長)、JAEE 家村元副会長(IAEE 前事務局長)、勝俣総務理事、鴫原				
	事務局長、芳村、家村夫人(於 本会事務所 11 時 00 分~15 時 00 分)				
11月25日(月)	・ 会計税理士 (涌井税務会計事務所) 10 月定期監査実施及び鈴木会計総務				
	理事との懇談(於 本会事務所 10 時 30 分~15 時 00 分)				
	・ 日本地震工学シンポジウム委員長要請について 鈴木会長、福和理事、				
	勝俣総務理事出席にて、和田章東京工業大学教授に委員長要請(於 建築				
	会館アゴラ 10時00分~11時20分)				
11月28日(金)	選挙管理委員会開催 勝俣理事、金子理事・委員長他(於 本会事務所 16				
11/1 10 [(12)	時 00 分~17 時 30 分)				
12月01日(月)	• JAEE NEWS No.177 配信				
12月03日(水)	・ 会誌編集委員会開催 志波理事・委員長他(於 建築会館 307 会議室 14 H 50 () 14 H 50 ()				
	時 00 分~16 時 30 分)				
12月04日(木)	・ 「緊急地震速報講習会・展示会 2008 東海」開催 主催 本会、緊急地				
~05 (金)	震速報講習会・展示会 2008 東海 実行委員会他、講師 入倉京都大学				
	名誉教授(本会元会長)、福和理事他(於 愛知工業大学八草キャンパス				
	(愛知県名古屋市)、参加者 300 名)				
12月11日(木)	· 将来計画検討委員会(第3回)開催 鈴木会長(委員長)、濱田次期会				
	長他(於 建築会館 307 会議室 13 時 30 分~15 時 30 分)				
12月12日(金)	・ セミナーおよび展示会「地震防災の学習教材の現状」開催 主催 本会、				
~14 日 (日)	土木学会中国支部、地盤工学会中国支部、三原市防災ネットワーク(於				
14 H (H)					
10 0 15 0 (0)	三原市市民ギャラリー(広島県三原市)、参加者 100 名)				
12月15日(月)	· JAEE NEWS No.178 配信				
	・ 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会開催 小				
	長井委員長他 5 名(於 東京大学生産技術研究所 AN 棟 405 会議室 10 時				
	00 分~12 時 00 分)				
12月16日 (火)	• 会計税理士(涌井税務会計事務所)11 月定期監査実施(於 本会事務所				
	14 時 00 分~18 時 00 分)				

51 - 15 -

T				
12月17日(水)	・ 原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会(地震安全特別専			
	門委員会 地震動分科会) 開催 出席 亀田弘行委員長、中村事業理事他			
	(於 JNES別館13F AB会議室 15時00分~18時00分)			
12月18日(木)	会長・副会長会議開催 鈴木会長、鈴木(祥)副会長、西谷副会長、吉			
	田副会長、総務理事他(於 建築会館 304 会議室 15 時 00 分~16 時 00			
	分)			
	· 第 73 回理事会開催 鈴木会長、濱田次期会長他(於 建築会館 304 会議			
	室 16 時 00 分~18 時 30 分)			
	・ 日本地震工学シンポジウム準備会 和田章委員長(東京工業大学教授)、			
	福和理事、勝俣総務理事 (於 建築会館 303 会議室 12 時 30 分~14 時			
	30 分)			
12月26日(金)	津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会開催 松冨委員長他			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(於 建築会館 306 会議室 13 時 30 分~16 時 30 分)			
	 事務所仕事納 			
	・ 臨時 JAEE NEWS 配信 (「微動利用技術研究委員会」委員公募の			
	お知らせ、「E-ディフェンス首都直下地震防災・減災実験見学会」他協賛			
	事業等の案内)			
01月06日(火)	事務所仕事初			
017,00 1 (70)	・ 研究統括委員会兼地震災害対応委員会開催 中埜委員長、三輪理事、翠			
	川理事 (於 建築会館 306 会議室 10 時 00 分~11 時 40 分)			
01月07日(水)	・ 世界地震工学会(IAEE)日本代表を、鈴木会長名により元副会長 川			
	島一彦氏(東京工業大学教授)に就任依頼状発信→同承諾返信受領(1月			
	19日)			
01月15日(木)	・ JAEE NEWS No.179 配信			
01月22日(木)	・ 総務部会開催 濱田次期会長、勝俣総務理事、犬飼総務理事、鈴木総務			
	理事(於建築会館305会議室 17時00分~18時40分)			
	· 会計税理士(涌井税務会計事務所)12月定期監査実施(於 本会事務所			
	13 時 00 分~17 時 00 分)			
	· 会誌編集委員会打合せ 志波理事·委員長他(於 建築会館 305 会議室 19			
	時 00 分~20 時 00 分)			
	・ 本会主催「E-ディフェンス首都直下地震防災・減災実験見学会」実施 会			
	場:独立行政法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター 13 時			
	30 分~17 時 00 分 (事業企画委員会企画) 参加者 27 名			
	・世界地震工学会(IAEE)小谷俊介理事、同芳村学事務局長あて、鈴			
	木会長名書簡により、同日本代表として元副会長 川島一彦氏(東京工			
	業大学教授)の就任を報告			
01月26日(月)	・ 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会開催 小			
01/12011 (///	長井委員長他7名(うち、オブザーバ2名)(於東京大学生産技術研究			
	所 AN 棟 405 会議室 10 時 00 分~12 時 00 分)			
01月28日(水)	・ 日本地震工学シンポジウム運営委員会・準備会(第 3 回)開催 和田章			
- / 1 / / / /	委員長(東京工業大学教授)、鈴木会長、濱田次期会長、福和理事、勝侯			
	理事他 (於 建築会館 305 会議室 10 時 00 分~12 時 00 分)			
01月29日(木)	・ リモートセンシング技術を用いた災害軽減に関する研究委員会開催 山			
	崎委員長他(於 産業技術総合研究所 秋葉原事業所 東(第1)会議室			
	15 時 00 分~17 時 30 分)			

52 - 16 -

01年31日(土)	日本地震工学会会誌第9号発行(平成21年1月31日)
	· 研究統括委員会兼地震災害対応委員会開催 中埜委員長、三輪理事、翠
	川理事(於 本会事務所 18時00分~20時00分)
02月00日(*)	・ 論文集第9巻第1号発刊
	・ 論文集第9巻第2号 特集号「情報共有による減災対策」発刊
02月02日(月)	· JAEE NEWS No.180 配信
02月05日(木)	将来計画検討委員会(第4回)開催 鈴木会長(委員長)、濱田次期会
	長、総務理事他(於 建築会館202会議室 15時00分~17時00分)
	・ 第 74 回理事会開催 鈴木会長、濱田次期会長他(於 建築会館 202 会議
	室 17 時 00 分~19 時 30 分)
	・ 事業企画委員会開催 中村理事・委員長他(於 建築会館 306 会議室 15
	時 00 分~18 時 00 分)
	・ 後援 第 13 回「震災対策技術展/自然災害対策技術展」横浜開催
02月16日(月)	· JAEE NEWS No.181 配信
02月23日(月)	・ 知的財産政策検討のためのアンケート調査受領 日本学術会議会長
02)1 20 H ()1)	翠川理事(研究統括委員会担当)にて回答(3月6日)
	・ セミナー「実務で使う地盤の地震応答解析」開催 講師 副会長吉田望
	教授(東北学院大学)挨拶 中村理事・事業企画委員会委員長((於 建
	築会館ホール 10 時 00 分~17 時 00 分)参加者 120 名
02月24日(火)	· 第1回微動利用技術研究委員会開催 森伸一郎委員長(愛媛大学准教授)
	他 20 名出席(於 建築会館 301 会議室 10 時 00 分~13 時 00 分)
	・ 正会員会費銀行自動引落し登録者に会費引落とし予告通知(メール)(414
	名)
02月27日(金)	・ 正会員会費自動引落しデータ発送→三菱総研 DCS㈱(409 件/3/27 実施)
03月02日(月)	・ JAEE NEWS No.182 配信
00), 02 1 (),1)	・ 来期「次期会長」「副会長」「監事」選挙の投票用紙発送 正会員 1,180
	名(3月2日時点、会費納入正会員(名誉会員含む)投票締切 3月19
	日(木)当日消印有効
03月03日(火)	・ 地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会開催 小
00)1 00 11 ()()	長井委員長他7名(うち、オブザーバ2名)(於東京大学生産技術研究
	所B棟 302 会議室 10 時 00 分~12 時 00 分)
03月05日(木)	・ 本会主催「E-ディフェンス実大 5 層制振構造建物実験見学会」実施
00 /1 00 円 (/1/)	会場:独立行政法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター 14
	時 30 分~17 時 00 分(事業企画委員会企画)参加者 23 名
03月09日(月)	・ 2009年度日本地震工学会大会実行委員会委員による会場視察 代々木青
	少年総合センター(センター棟)芳村理事・大会実行委員会委員長、北
	村委員他 鴫原事務局長 10 時 30 分~12 時 00 分
	・ 国際委員会開催 笠井理事・委員長、芳村理事、川島委員他(於 本会事)
	務所 13 時 00 分~15 時 00 分)
03月11日(水)	・ 臨時 JAEE NEWS 配信 (来期「次期会長」「副会長」「監事」選挙投
00 /1 11 11 (/11/)	票案内)
	造物におけるライフサイクルコスト戦略研究委員会主催 東畑郁生委員
	長(東京大学教授)講師 西村伸一委員(岡山大学)他(於 京都大学吉
	田キャンパス 百周年記念時計台ホール 13 時 00 分~17 時 00 分)参加
	□ 1 1 4 1 2 1 日本 1 日本 1 日本 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

53 - 17 -

	無料 参加者 30 名
03月12日(木)	会長・副会長会議開催 鈴木会長、濱田次期会長、鈴木(祥)副会長、
	西谷副会長、吉田副会長、武村副会長、総務理事他(於 建築会館 301 会
	議室 16 時 00 分~17 時 00 分)
	・ 第75回理事会開催 鈴木会長、濱田次期会長他(於 建築会館301会議
	室 17時 00分~19時 30分)
03月16日(月)	・ JAEE NEWS No.183 配信
	・ 第 1 回日本地震工学シンポジウム運営委員会開催 濱田次期会長、和田
	委員長各学協会推薦委員(於 建築会館 301 会議室 10 時 00 分~12 時 30
	分)
03月18日(水)	・ 原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会(地震安全特別専
	門委員会 地震動分科会) 開催 出席 亀田弘行委員長、中村事業理事他
	(於 JNES 本館 4F A 会議室 15 時 00 分~18 時 00 分)
03月23日(月)	・ 芳村理事 (大会実行委員会委員長)、鴫原事務局長 大会、その他に関す
	る事務的打合せ(於 本会事務所 10時00分~11時40分)
	・ 津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会開催 松冨委員長他
	(於 建築会館 307 会議室 13 時 30 分~17 時 00 分)
	・ 次期会長・副会長・監事選挙当日消印日(3月23日受領、日付有効数:
	519 件)
03月26日(木)	· 会計税理士(涌井税理会計事務所)1月·2月 定期監査実施(於 本会
	事務所 10 時 30 分~15 時 00 分)
	・ 選挙管理委員会開催 金子理事・委員長他(於 建築会館 306 会議室 14
	時 00 分~16 時 00 分)
	・ 臨時総務部会開催 勝俣理事、犬飼理事、鈴木理事(於 建築会館 306 会
	議室 16 時 00 分~18 時 00 分)
03月30日(月)	・ 会誌編集委員会開催 志波理事・委員長、上半幹事他(於 建築会館 307
	会議室 15 時 00 分~17 時 30 分)

54 - 18 -

2. 大会

2.1 概要

1.日時:2008年11月3日(月)~5日(水)

2.会場:仙台市情報・産業プラザ

3.内容:

①学術講演発表題数 178 題(部門別セッション別掲)

②宮城県沖地震30周年シンポジウム 300名

③大会懇親会 75 名

④地震工学技術フェア 8社

白山工業株式会社,株式会社 山武,日本航空電子工業㈱,株式会社 ミツトヨ,㈱ 高見沢サイバネティックス,株式会社システムアンドデータリサーチ,株式会社勝 島製作所,応用地震計測株式会社

4. 登録参加者

280名

5. 大会実行委員会

委員長 源栄正人 東北大学工学研究科教授

委 員 地震動 神山 眞 東北工業大学工学部教授

大野 晋 東北大学工学研究科准教授 (委員会幹事長)

地盤 吉田 望 東北学院大学工学部教授

渦岡良介 東北大学工学研究科准教授

土木 風間基樹 東北大学工学研究科教授

建築 前田匡樹 東北大学工学研究科准教授

西田哲也 秋田県立大学システム科学技術学部准教授

機械 柏崎昭宏 IHI技術開発本部管理部部長

社会防災 佐藤 健 東北大学工学研究科准教授

総務 三辻和弥 東北大学工学研究科助教

迫田丈志 東北大学工学研究科助手

水口広隆 宮城県土木部建築安全推進室

田脇正一 仙台市消防局防災安全課

長田正樹 応用地質東北支社

澤邊 浩 東北電力土木建築部

勝俣英雄 大林組技術研究所構造技術研究部部長

WEB 盛川 仁 東京工業大学大学院准教授

協力委員WEB技術 斉藤洋文

事務局 鴫原 毅 日本地震工学会

- 6. 大会セッション (別掲)
- 7. 大会学術講演集(学術振興掲載)
- 8. 地震工学技術フェア展(出展者8社一覧)

55 - 19 -

2.2 日本地震工学会・大会-2008 (セッション時間割・会場)

セッション時間割および会場一覧

1題15分(発表10分・質疑5分)

会場		第1会場 5階多目的ホール	第2会場 6階セミナールーム(2)A	第3会場 6階セミナールーム(2)B	第4会場 6階セミナールーム(1)A+B	第 5 会場 5 階展示スペース
	午前 -	9:30-11:15 鉄筋コンクリート構造 (解析・設計法)	9:30-12:30 - 機械設備系・免震・制振・ ヘルスモニタリング	9:30-12:15 地盤震動(1)	9:30-11:15 ライフライン・緊急速報・ 災害情報	技術展示
11/3 (月)		11:15-12:45 鉄筋コンクリート構造 (地震被害)				
()1)	午後	13:30-17:00 30 周年シンポジウム				技術展示
	干饭		17:30-19:30 懇親会			
	午前	9:30-11:45 鉄筋コンクリート構造 (部材実験)	9:30-12:00 地中構造物・杭・基礎構造・地盤 -構造物相互作用・土木構造物	9:30-12:00 地盤震動(2)	9:30-11:30 防災計画	技術展示
11/4 (火)	午後-	13:00-15:15 地震観測・振動・その他	13:00-15:15 地盤の液状化・斜面崩壊	13:00-15:00 震源特性(1)	13:00-15:00 岩手・宮城内陸地震(1)	44.45-12-
		15:30-17:00 原子力発電所	15:30-17:30 耐震補強・新しい構造・材料・ 実験	15:15-16:45 震源特性(2)	15:15-16:30 岩手・宮城内陸地震(2)	技術展示
11/5 (水)	午前	9:30-11:15 木造(在来工法) 11:15-12:45 木造(伝統工法)	9:30-11:15 深い地下構造	9:30-11:45 地盤震動(3)	9:30-12:00 リモートセンシングによる 災害把握	技術展示
	午前	木造(在来工法)	-		リモートセンシングによる	技術展

56 - 20 -

3. 表彰

3.1 2008年日本地震工学会論文奨励賞

表彰業績	受賞者
高分解能衛星画像と数値標高モデルを用いた2004年新潟県中	三浦弘之
越地震での斜面崩壊地の検出	(東京工業大学)
強震ネットワークデータから構築した広周波数帯域統計的グ	包 那仁満都拉
リーン関数とその南海地震への応用	(飛島建設)

4. 会誌・ニュース配信

4.1 会誌

日本地震工学会誌 2冊(2008年7月末、2009年1月末)

総ページ数 130頁(2008年7月末発行/65頁、2009年1月末発行/65頁)

発行部数 3600部

2008年7月 №8号 特集 1968年十勝沖地震から40年・1978年宮城県沖地震から30年

- ・会長就任にあたって/鈴木浩平
- ・追悼 名誉会員金井清先生のご逝去を悼んで/工藤一嘉
- ・1968年十勝沖地震・1978年宮城県沖地震の頃-地震学・地震防 災学の視点-/太田 裕
- ・土木分野の被害と教訓/柳沢栄司
- ・1968年十勝沖地震による鉄筋コンクリート造建築物の被害と教訓/岡田恒男
- ・建築分野の被害と教訓(宮城県沖地震を中心として) /柴田明徳
- ・機器・配管・タンクの耐震化の歩みと随想/柴田 碧
- ・1978年宮城県沖地震-ライフラインの被害と教訓/磯山龍二
- ・宮城県沖地震の被害想定/田中礼治

学会ニュース

学会の動き

2009年1月 №9号 特集 地震動の性質と被害-近年の地震からの知見-

- ・背景と構成/境 有紀
- ・震源と地震動の性質/久田嘉章
- ・表層地盤と地震動の性質/吉田 望
- ・地震動の性質と建物被害の関係/境 有紀
- ・2008年岩手・宮城内陸地震のKiK-net-関西における4gの強震 記録/青井 真、森川信之
- ・2008年岩手・宮城内陸地震における斜面地盤災害/風間基樹
- ・2007年能登半島及び中越沖地震による産業設備機器の被害/ 岩田佳雄、佐伯暢人
- ・機械設備の耐震評価手法/藤田 聡、皆川佳祐

連載 名誉会員インタビュー (第1回)

·田中貞二先生/三宅弘恵

学会ニュース

学会の動き

57 - 21 -

4.2 JAEEニュース配信

送信日 2008年4月1日 4月11日
4月11日
4 🗆 1 🗆
4月15日
4月22日
4月25日
5月1日
5月12日
5月15日
5月20日
6月2日
6月16日
6月17日
7月1日
7月15日
8月1日
8月20日
9月1日
9月1日
9月10日
9月15日
9月18日
10月1日
10月15日
10月31日
11月14日
12月1日
12月15日
12月26日
2009年1月15日
2月2日
2月16日
3月2日
3月11日
3月16日

58 - 22 -

5. 学術振興

5.1 日本地震工学会論文集

巻	号	発行年月	掲載題数
第8巻	第2号	2008年05月	2題
第8巻	第3号	2008年08月	6題
第8巻	第4号	2008年11月	5題
第9巻	第1号	2009年02月	9題
第9巻	2号 特集号 情報共有による減災対策 Earthquake Preparedness and Mitigation by Sharing Information	2009年02月	16題

5.2 日本地震工学会大会学術講演集

一題当たり2頁 178題 373頁 CD-ROM付

	発表部門	題数	参加者
1-1	鉄筋コンクリート構造 (解析・設計法)	7	30
1-2	鉄筋コンクリート構造(地震被害)	6	40
1-3	鉄筋コンクリート構造 (部材実験)	9	30
2	地震観測・振動・その他	9	30
3	原子力発電所	6	30
4-1	木造(在来工法)	7	25
4-2	木造(伝統工法)	6	20
5	機械設備系・免震・制振・ヘルスモニタリング	12	25
6	地中構造物・杭・基礎構造・地盤-構造物相 互作用・土木構造物	10	35
7	地盤の液状化・斜面崩壊	9	30
8	耐震補強・新しい構造・材料・実験	8	20
9	深い地下構造	7	25
10-1	地盤震動 (1)	11	40
10-2	地盤震動 (2)	10	60
10-3	地盤震動 (3)	9	35
11-1	震源特性(1)	8	35
11-2	震源特性 (2)	6	35
12	ライフライン・緊急速報・災害情報	7	25

59 - 23 -

13	防災計画	8	25
14-1	岩手・宮城内陸地震(1)	8	35
14-2	岩手・宮城内陸地震(2)	5	35
13	リモートセンシングによる災害把握	10	20

6. 委員会活動

6.1 会務関係

- 正副会長会議
- 総務部会
- 会計部会
- 選挙管理委員会
- · 役員候補推薦委員会
- · 法人化検討委員会
- ・将来計画検討委員会(1.3節参照)
- · 電子広報委員会

6.2 会員関係

• 会員部会

6.3 学術関係

• 論文集編集委員会

6.4 情報関係

• 会誌編集委員会

6.5 事業関係

• 事業企画委員会

6.6 調査研究関係

- ·研究統括委員会
- · 地震災害対応委員会
- 国際委員会
- ・土構造物におけるライフサイクルコスト戦略の研究委員会
- ・リモートセンシング技術を用いた災害軽減に関する研究委員会
- ・地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会
- ・津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会
- ・原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会
- · 微動利用技術研究委員会

6.7 共催団体関係委員会

・日本地震工学シンポジウム運営委員会(第13回)

6.1 会務関係

委員会名 委員(長)名*1 委員数*1 *1:平成21年3月31日現在	会合数 (電子媒体 会合含)	事業概要
正副会長会議	9回	会務運営に関する重要事項の検討
鈴木浩平会長、濱田政則次期会長、	他メール審議	通常総会の議案の検討
鈴木祥之副会長、西谷章副会長、		・予算・事業計画の方針の検討
武村雅之副会長、吉田望副会長		・理事会の運営方針の検討
勝俣英雄総務理事、		・諸規程類の整備方針の検討
犬飼伴幸総務理事		・次期理事候補の検討・選出および役員分掌

60 - 24 -

鈴木康嗣先任総務・会計理事		の検討
委員 9名		・IAEE日本代表候補の検討
		・IAEE事務局支援の方針に関する検討
		・日本地震工学シンポジウム運営委員会の組
		織に関する方針の検討
th who has A		・15WCEE開催提案に関する検討
総務部会	5回	会務運営に関する連絡調整、各種内規の整備、
勝俣英雄先任総務理事	他メール審議	決算、予算、役員分掌に関する事項
大飼伴幸後任総務理事		・通常総会の運営
鈴木康嗣先任総務・会計理事		・理事会の運営
委員 3名		・事務局体制の整備
		諸規程類の整備
		・その他、学会の運営に関する庶務(法人化
		の検討、他)
		・地震調査研究推進本部からの今後の「地震
		調査研究の推進」に関する意見公募に対し
		て、会長名で意見を提出
		・将来計画検討委員会の設置
		・第13回日本地震工学シンポジウム運営委員会
		の設置準備
会計部会	メール審議	財務全般、収支予算・決算管理に関する事項
鈴木康嗣先任理事	у да нах	・平成19年度収支決算の立案
佐藤清隆後任理事		・平成20年度収支予算の立案
委員 2名		予算管理月報を報告、予算流書書作成
女員 27		・公益法人会計に則った会計処理を本年度初
		めて実施
133 1V 685-711 - F. D. A.		・監事監査会実施
選挙管理委員会	2回	役員選挙の管理・運営所管に関する事項
勝俣英雄先任総務理事	他メール審議	・選挙実施計画の検討(委員会の開催)
金子美香後任会員理事・委員長		・理事会へ選挙実施計画を報告
委員 4名		・投票用紙準備・発送・回収
		・投票呼びかけメール配信
		・開票 (委員会の開催)
		・選挙結果を会長・理事会に報告
		・新任委員候補者の選出・理事会への報告・
		総会での提案
役員候補推薦委員会	1回	役員選挙における候補者推薦に関する事項
	他メール審議	・委員会の開催(推薦候補者案作成)
	他产业金融	
犬飼伴幸後任総務理事・委員長		・候補者の意思確認
委員 16名		・推薦候補の選定結果の報告
		・候補者紹介の作成
		・新任委員候補者の選出・理事会への報告・
	<u> </u>	総会での提案
法人化検討委員会	2回	公益法人制度改革の状況を踏まえて、法人化
鈴木康嗣先任総務・会計理事・	他メール審議	に向けての諸施策を検討
委員長		・将来検討委員会にて方針決定(非営利型一
大飼伴幸後任総務理事		般法人格取得)
委員 8名		・法人化ロードマップ作成
女只 0 年		
		・定款(案)を検討
) />	・他学協会の動向に関する情報収集
- 95 7.1. 86 不合公	メール審議	①ホームページの管理・運営に関する事項
電子広報委員会	/ H H3X	
大堀道広理事・委員長	/ / H HX	②会員への情報発信に関する事項
	<i>,</i> , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	②会員への情報発信に関する事項 ・サーバーの更新
大堀道広理事・委員長	<i>у и</i> в юд	②会員への情報発信に関する事項

61 - 25 -

ース配信(12 回) ・年次大会受付システム運用		 ・サーバーの管理 ・JAEE NEWS 配信(月2回/22回)臨時ニュース配信(12回) ・ケル大会受付システム運用
-------------------------------	--	--

6.2 会員関係

会員部会	メール審議	会員の身分、入退会、管理に関する事項
柏崎昭宏理事		・「法人登録会員」制度実施、実施細目立案
金子美香理事		・会員特典の見直し
委員 2名		・会員増強施策の検討
		• 会費未納者対策
		・和文パンフレット改訂、英文パンフレット
		新規制作(2000部)

6.3 学術関係

論文集編集委員会	1回	論文集編集の編集及び発刊に関する事項
吉田郁政理事・委員長	他メール審議	・定期論文集の発刊(2・5・8・11月号)
委員 19名		・特集号情報共有による減災対策
		Earthquake Preparedness and Mitigation
		by Sharing Information (2月)
		・会員限定期間の設定,著作権譲渡書,英文
		メール整備などの改善
		・奨励賞選定手順の明確化
		・2008 年奨励賞候補者の選定
		・特集号の企画
国際委員会	4回	日本地震工学会の国際的活動の企画・運営
笠井和彦理事・委員長	他メール審議	国際交流
委員 10名		・15WCEE 開催提案の検討
		・14WCEE における旅費支援募金の実施
		・14WCEE における JAEE 特別 3 セッションの
		開催、および 14WCEE 展示ブースへの出展
		・IAEE「耐震規定リスト」作成支援
		・IAEE との連携支援、国際交流会の開催(別)
		紙参照)
		・IAEE 事務局および日本代表への支援
		・海外関係機関との連絡調整

6.4 情報関係

会誌編集委員会	4回	会報「日本地震工学会誌」を編集・発行し、
志波由紀夫理事・委員長		会員および学会外へ情報発信に関する事項
委員 12名		・会誌第8号および第9号の編集・発行(年
		2回発行)
		・電子広報委員会との連携の推進
		会誌投稿要領策定、著作権の明確化等

6.5 事業関係

事業企画委員会	5回	講演会・講習会・展覧会・見学会・出版など
中村英孝理事・委員長	他メール審議	を通じて,会員をはじめとする研究者・技術
委員 17名		者・一般市民等の地震工学および地震防災に
		関する学術ならびに技術の進歩・発展を図

62 - 26 -

り,地震災害の軽減に関する事項
・「講演会」「講習会」「見学会」「セミナー」
の企画・開催(別紙参照)
・新しい事業企画の検討

6.6 調査研究関係

6.6 調宜研究関係		
研究統括委員会 鈴木祥之副会長・委員長 委員 4名	3回他メール審議	①地震工学分野の調査・研究を進展させ、調査・研究成果を広く国内外に還元して社会の地震防災性向上に関する事項②各研究委員会設立、目的達成のための活動に対する評価、助言、指導に関する事項・各研究委員会の活動活発化の支援・新規研究委員会の設立
地震災害対応委員会 中埜良昭委員長 三輪 滋理事 翠川三郎理事 委員 5名	3回他メール審議	・海外での地震発生時における地震災害対応 委員会のサポート 国内外の大地震発生時における災害調査支 援、情報収集支援、調査報告会開催、各学会 調査の調整、突発災害調査費申請支援 ・岩手・宮城内陸地震速報会の合同開催による情報提供と共有 ・四川大地震復旧技術支援連絡会議による支
土構造物におけるライフサイクル コスト戦略の研究委員会 東畑郁生委員長 委員 6名	6回メール審議	援活動に参画 ・地震災害対応活動の基本骨子を整備した ・地震災害対応活動費用の申請 土構造物におけるライフサイクルコスト戦 略を推進研究 ・LCC 評価のための例題に作成 ・海外でのワークショップ開催
リモートセンシング技術を用いた 災害軽減に関する研究委員会 山崎文雄委員長	3回 メール審議	・セミナー実施(京都) ・資金援助をいただいたNEDOへの報告書作成「NEDO最終報告書.pdf」 ・最終報告書を作成 リモートセンシング技術を災害軽減に利用するための統合的研究と国際連携 ・大会オーガナイズドセッションの開催
委員 12名 地震被害・復興の記録のアーカイブ	3回	 ・第6回国際ワークショップへの支援と参加 ・地震被災地の衛星データ処理と共有・都市域でのインベントリデータ構築のために、首都圏における衛星画像データ購入、GISデータ、衛星画像データとの比較検討 地震被害と復興に関するデータの集約(調
ス構築のための研究委員会 小長井一男委員長 委員 9名 オブザーバー 2名	他外級	査)やメッセージ発信のあり方を検討。国内外へアーカイブス構築の雛形を示す。 ・各地震によって引き起こされた、短期的、長期的課題の抽出:関東地震を含む地震被害報告の原資料の読み解きの過誤、地盤データ情報の集約の実態と課題(品質保証、メンテナンスの問題)(90%) ・海外の地震災害調査と復興支援の課題の検討(50%) ・活動計画(講習会、ウェブサイト構築など)の策定70%。

63 - 27 -

津波災害の実務的な軽減方策に関 する研究委員会 松富英夫委員長 委員 13名	3回他メール審議	防災施設を中心に据えて、津波災害の軽減方 策の研究・提案 ・シンポジウム開催「津波災害の軽減方策の いま・みらい」 参加者数 40 名 ・釧路港津波漂流物対策施設の視察 ・報告書の作成
原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会 亀田弘行委員長 委員 23名 オブザーバー 3名	3回	原子力発電所全体の最適地震安全性の実現、ロードマップの作成 ・フェーズ1の活動方針設定と課題抽出 ・課題「新潟県中越沖地震における K-K プラントの検証」「耐震設計」「PSA」「防災・運転管理」「地震工学の要素技術」「安全目標・コミュニケーション」「国際貢献・人材育成・ロート、マップ。」「K-K プラントの検証」について検討
微動利用技術研究委員会 森 伸一郎委員長 委員 29名	1回他メール審議	地盤, 土木, 建築の各分野での実務への普及 と研究の進展に寄与 現状での微動利用技術の実用上の適用性と 要求事項の明確化 ・委員の公募、委員構成を確定 ・第1回委員会(23名)を開催(2/24)、3箇年 の活動方針と計画を議論. ・会議の効率をはかるため ML を立ち上げ ・文献調査・収集整理・文献リストの作成

6.7 共催団体関係委員会

0.7 共催団体関係安貝会		
第13回日本地震工学シンポジウム	3回	・第 13 回日本地震工学シンポジウム運営実
運営準備会		施
鈴木浩平会長		運営準備会設立
濱田政則次期会長		・日本地震工学会理事会にて和田章東京工業
武村雅之副会長		大学教授運営委員会委員長指名
福和伸夫理事		・13JEES運営委員会の委員案とスケジュー
勝俣英雄総務理事		ルについて検討
和田 章 (東京工業大学教授)		・13JEES開催日程、開催会場の案の検討
倉本 洋 (大阪大学教授)		シンポジウムの性格について議論
久田嘉章 (工学院大学教授)		シンポジウムでの企画について議論
日本地震工学シンポジウム運営委	1回	・第13回日本地震工学シンポジウム共催開
員会		催運営実施(日本地震工学会(幹事学
和田 章委員長		会)・日本建築学会・土木学会・日本機
委員 20名		械学会・地盤工学会・日本地震学会・震
		災予防協会・日本自然災害学会・地域安
		全学会)9学協会
		・運営委員会委員構成について
		・13JEES運営委員担当と開催日程、開催会
		場の方向性の決定
		・シンポジウムの性格について(国際化、
		地震工学会10周年、査読の有無について)
		・シンポジウムでの企画について
		(特別セッション、特別講演、PD、早わか
		り講座、展示、懇親会)

- 28 -

6.8 災害調査団派遣

名称	期日	団員	共催
四川大地震復旧技術支援連絡会議の設立と代表団の派遣成都市で開催される交流会議開催	5.28~6.01	本会、土木学会他 代表団長 濱田政則次 期会長他	日本地震工学会 土木学会 日本建築学会 地盤工学会 日本地震学会 日本都市計画学会 日本地理学会 地域安全学会
岩手·宮城内陸地震調査団現地調査 (団長 風間基樹(東北大教授)、副 団長 本会吉田望副会長他	6. 15	本会、土木学会、地盤工学会 学会 副団長 本会吉田望副 会長他	日本地震工学会 地盤工学会 土木学会 日本地すべり学会
岩手北部沿岸地震現地調査 本会吉田望副会長他	7. 25	本会吉田望副会長他	日本地震工学会

7. 事業報告 (講習会・講演会・セミナー・シンポジウム・見学会等)

7.1 研究委員会主催

(1) 津波災害の軽減方策に関する研究委員会

名称	期日	会場	講師	参加者
津波災害の軽減方策のいま・み	2008.11.05	みやぎ産業交	松冨英夫委員	40名
らいシンポジウム開催		流センター (仙	長 (秋田大学)	
		台市)	他 5 名	

(2) 土構造物におけるライフサイクルコスト戦略研究委員会

名称	期日	会場	講師	参加者
セミナー「地盤構造物における	2009.3.11	京都大学吉田	東畑郁生委員	30 名
ライフサイクルコスト戦略」開		キャンパス	長、西村伸一委	
催		百周年記念時	員(岡山大学)	
		計台ホール	他	

(3) 国際委員会

IAEE・JAEE 共催「最近の中・	2008.8.29	東京・建築会館	鈴木浩平会長、	80 名
日の地震被害報告会・交流会」		ホール	川島一彦元副	
			会長他	
			IAEE 家村事務	
			局 長 、 LIU	
			Yuchen 氏(中	
			国国家地震局	
			副局長)、QI	
			Xiaozhai 博士	
			(14WCEE 組織	
			委員会事務局	
			長)他	

- 29 -

7.2 事業企画委員会主催 (3) 事業企画委員会

名称	期日	会場	講師	参加者
セミナー「セミナー「強震動予 測レシピー新潟県中越沖地震 や能登半島地震などに学ぶー 開催	2008.04.11	大阪工業大学 摂南大学大阪 センター	入倉孝次郎 (京 大名誉教授) 他 5名	53名
セミナー地震発生確率~理論 から実践まで~開催	2008.4.22	東京・建築会館 ホール	島崎邦彦東大 教授他2名	135 名
市民向けフォーラム 1968 年 十勝沖地震 40 年防災フォーラ ムー過去に学び、将来に備える ー開催	2008.5.10	八戸商工会館 (青森県八戸 市	柳沢栄司東北 大学名誉教授 他3名	延べ 220 名
東京都防災展 日本地震工学 会として出展	$2008.8.19$ ~ 8.21	東京・新宿駅西 口広場イベン トコーナー	理事·中村英孝 委員長他	延べ 5000名
「Eーディフィンス橋梁耐震 実験見学会」	2008.10.09	神戸・(独) 防 災科学技術研 究所兵庫耐震 工学研究セン		30名
講習会「緊急地震速報講習会・ 展示会 2008 東海」	2008.12.04 ~12.05	名古屋・愛知工 業大学八草キャンパス	入倉孝次郎(京 大名誉教授)・ 理事・福和伸夫 名古屋大学教 授他	300名
展示会「地震防災の学習教材の 現状について」	$2008.12.12$ ~ 12.14	広島・三原市民 ギャラリー	共催:土木学会 中国支部他	100名
「Eーディフィンス首都直下 地震防災・減災実験見学会」	2009.1.22	神戸・(独) 防 災科学技術研 究所兵庫耐震 工学研究セン ター		27名
セミナー「実務で使える地盤の 地震応答解析」	2009.02.23	東京・建築会館ホール	講師本会副会 長吉田望(東北 学院大学教授)	120名
「Eーディフィンス実大 5 層 制振構造建物実験見学会」	2009.3.05	神戸・(独) 防 災科学技術研 究所兵庫耐震 工学研究セン ター		23 名

7.3 本会共催事業

1.0 个五八世子不			
名称	共催団体	期日	会場
共催 岩手·宮城内陸地震速報 会開催(4学会合同調査団)	土木学会ほか	2008.6.20	土木学会講堂
四川大地震復旧技術支援連絡会議復旧技術支援チーム報告会開催(6学会合同チーム)	土木学会ほか	2008.7.15	土木学会AB会議室

66 - 30 -

理論応用力学講演会(第58回)開催	日本学術会議機械 工学委員会他	2009.6.9~ 6.11	日本学術会議講堂
第 8 回国土セフティネットシンポジウムー本格運用から一年たった緊急地震速報ー	防災科学研究所、 リアルタイム地震 情報利用協議会	2009.2.5	横浜国際会議場 アネックスホール

7.4 本会後援・協賛事業(2008年4月~2009年3月の理事会承認) <後援>

名称	主催学協会	期日	会場
1978 年宮城県沖地震 30 周年 記念シンポジウム「あの揺れが またやってくる 今度は大丈 夫なの? 地盤情報が教えて くれるもの」	地盤工学会東北支部	2008. 6. 07	エルパーク仙台 ギャラリーホール
第3回「震災対策技術展/自然 災害対策技術展」宮城	宮城県沖地震対策 研究協議会	2008. 11. 5 ~11. 6	みやぎ産業交流センタ ー(夢メッセ MIYAGI)
NPO法人 国境なき技師団 第4回定例セミナー	N P O 法人 国境 なき技師団	2008. 11. 10	土木学会講堂
第2回日本耐震グランプリ ~ 耐震がつくる安心安全な地域 社会~	日本耐震グランプ リ実行委員会	2008. 11. 14	都市センター会館 コスモホール
増大する地震動レベルと建物 の終局耐震性の課題と展望-地 震動と建築物の耐震性との関 係を横断的に評する指標の確 立に向けて-	日本建築学会	2008. 12. 11	建築会館ホール
震災予防協会 第 28 回震災予防協会講演会 「内陸直下地震と火山」	震災予防協会	2009. 2. 6	横浜国際会議場(パシフィコ横浜)
第 13 回震災対策技術展/自然 災害対策技術展 横浜	震災対策技術展/ 自然災害対策技術 展横浜会場実行委 員会	2009. 2. 5 ~6	横浜国際会議場 (パシフィコ横浜
学生支援GP連携・防災シンポジウム「いのち・つなぐ・ちから:大学発!過去の地震災害から学ぶ、地域の防災を高めよう」	工学院大学	2009. 3. 1	工学院大学 新宿キャンパス
各種災害リスク低減のための シンポジウム	国際風工学会 (IAWE)・東京工 芸大学グローバル COE 拠点リーダー	2009. 3. 4 ~6	国連大学内
講習会「最新の地盤震動研究を 活かした地震波形の作成法」	日本建築学会	200. 3. 9	建築会館ホール

67 - 31 -

第 10 回地震災害マネジメント セミナー「地震災害対応におけ るリモートセンシング・テクノ ロジーの活用」	土木学会	2009. 3. 12	土木学会講堂
第1回「震災対策技術展/自然 災害対策技術展」静岡	震災対策技術展/ 自然災害対策技術 展静岡会場実行委 員会	2009. 4. 24 ~25	ツインメッセ静岡
金井清先生追悼シンポジウム 「地震動研究のこれまでとこ れから」	震災予防協会	2009. 4. 21	東京大学山上会館大会議室
第3回「地域防災防犯展」大阪	大阪国際見本市委員会	2009. 6. 4 ~5	インテックス大阪

<協賛>

物理探査学会創立 60 周年記念 シンポジウム・記念式典開催	物理探査学会	2008. 10. 21	タワーホール船堀
地震防災フォーラム 08-文化 遺産を地震から守る-	関西地震観測研究 会	2009. 1. 15	建設交流館グリーンホール
第 9 回 S E G J 国際シンポジ ウム	物理探査学会	2009. 10. 12 ~14	北海道大学学術交流会館
2008 年度計算力学技術者(固体力学分野の有限要素法解析技術者)ならびに計算力学技術者(熱流体力学分野の解析技術者)に関する認定事業	日本機械学会	2009. 12. 13 ~15	東京工業大学他

8. 国際交流事業

8.1 国際交流事業

2008年開催の14WCEE(**14th World Conference on Earthquake Engineering、**-OCTOBER 12-17, 2008 BEIJING, CHINA- 中国・北京市(Beijing Jiuhua SPA & Resort)において下記を実施(これにより、世界の群を抜く日本の地震防災先端技術を紹介するとともに、同分野の他国研究者との交流および情報交換を行った。)

(1) JAEE 特別セッション

Part1. 免震構造技術(10 月 13 日)

Part2. 制振構造技術 (10 月 14 日)

Part3. 早期地震警報システム (10月 14日)

(1) EXHIBITION 出展(10月12日~10月17日)

8.2 IAEE支援事業

(1) 各国代表 (National Delegates) および理事の確認の支援

68 - 32 -

- (2) 14WCEE組織委員会との連絡調整の支援、および開催案内
- (3) World Listの作成・支援
- (4) 世界地震工学会 (IAEE) 日本代表の交代に当たって、新しく本会元副会長川島一 彦教授 (東京工業大学) を指名し、IAEE事務局に登録
- (5) IAEE事務局および日本代表の支援活動について検討・実施
 - ・NPO法人としての認証取得準備支援

9. 建策・進言・要望・提言

- (1) 共同利用・共同研究拠点の認定要請の発出について依頼/東京大学地震研究所大 久保修平所長 (平成20年9月18日)
- (2) 共同利用・共同研究拠点の認定要請について回答/鈴木浩平会長(平成20年10月8日)
- (3) 京都大学防災研究所共同利用・共同研究拠点化について依頼/京都大学防災研究 石原和弘所長(平成20年11月12日)
- (4) 京都大学防災研究所共同利用・共同研究拠点化について回答/鈴木浩平会長(平成20年12月1日)
- (5) 「新たな地震調査研究の推進に向けて」に関する意見募集/文部科学省研究開発局・防災研究課地震調査研究推進本部事務局(平成20年9月16日)
- (6) 新たな地震調査研究の推進に向けて」に関する意見募集/文部科学省研究開発 局・防災研究課地震調査研究推進本部事務局に回答/鈴木浩平会長(平成20年10月 2日)
- (7) 「学術団体における知的財産制度のあり方についてのアンケート調査」日本学術会議会長(平成21年2月23日)について回答/翠川三郎理事(平成21年3月6日)

10. 報告書・資料集

10.1 会誌・報告書・資料集

2008. 07. 31	日本地震工学会誌No.8
2009. 01. 31	日本地震工学会誌No.9
2008. 05. 31	津波災害の軽減方策に関する研究委員会報告書
2009. 03. 31	土構造物におけるライフサイクルコスト戦略の研究委員会 最終報告書
2008. 04. 11	セミナー強震動予測レシピ「新潟県中越沖地震や能登半島地震などに学ぶ」 資料
2008. 04. 22	セミナー「地震発生確率・理論から実践まで」資料

69 - 33 -

2009.02.23 セミナー「実務で使う地盤の地震応答解析」資料

11. 会員数の動向

11.1 会員数移動(2008年4月~2009年3月現在/4月16日/理事会承認による)

	<i>/ /// (</i>		· · · · ·		
種別適用	名誉会員	正会員	学生会員	合計	法人会員
入会	+9	+34	+46	+89	+5
転格		+13	-13	0	
復活		+3		+3	
退会	-1 (逝去)	-80	-12	-93	-10
除名		-42	-21	-63	
小計	+8	-72	0	-64	-5
本年度-会員数	16	1149	80	1245	91
前年度-会員数	8	1221	80	1309	96
増減	8	-72	0	-64	-5

11.2 名誉会員(平成21年3月末現在 名誉会員16名)

規約第13条(名誉称号)この会の目的達成に多大の貢献をしたもの、または地震工学あるいは地震防災に関する学術・技術の進歩発展に功績顕著なものに、総会の議決を経て、名誉会員の称号をおくることができる。逝去者1名(年度中届出)

逝去者 名誉会員 金井 清 殿 2008年4月13日逝去

名誉会員(16名)(推挙年順かつ五十音順・敬称略)

2006年推举 篠塚正宣 柴田 碧 田治見 宏 田中貞二 田村重四郎 山田善一

吉見吉昭

2008年推举 青山博之 石原研而 和泉正哲 太田 裕 岡田恒男 志賀敏男 柴田明徳 柴田拓二 伯野元彦

12. 監事監査会に関する事項

実施年月日	監査項目等	実施場所
2008. 4. 24	1. 平成19年度事業報告の監査 2. 平成19年度収支決算書の監査 3. 公益法人改革に関する懇談	建築会館会議室

70 - 34 -

13. 会計税理士定期監査に関する事項

実施年月日	監査項目	実施場所
2008. 4. 15	1. 日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検 査実施 2. 平成19年度決算書作成	本会事務所
5. 14	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
6.09	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
7. 10	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
9.09	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
10. 16	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
11. 25	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
12. 16	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
01. 22	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所
03. 26	日計・月次・現金・預金通帳・会計帳簿定期検査	本会事務所

14. 寄付に関する事項

第 14 回世界地震工学会議開催 (14WCEE) に寄付する 寄付金総額 7,500USD (829,050円) +送金手数料 7,000円

(内訳:個人52名、団体1名(JAEE))

日本地震工学会から 331,050 円を寄付

15. 役員等 (2009年3月31日現在)

役 職	氏 名	就任年月	担当職務	現職
会長	鈴木浩平	2007. 6. 1	総括	首都大学東京 副オープンユニ バーシティ長)
次期会長	濱田政則	2008. 6. 1*	総括	早稲田大学理工学術院 教授
副会長	鈴木祥之	2007. 6. 1	会員・調査 研究	立命館大学グローバルイノベション推進機構 教授
副会長	西谷 章	2007. 6. 1	学術・国 際・情報	早稲田大学理工学術院 教授

71 - 35 -

副会長	武村雅之	2008. 6. 1*	事業・10 周 年記念事業	鹿島建設(株)小堀研究室 プリシパル・リサーチャー
副会長	吉田望	2008. 6. 1*	総務・会計	東北学院大学工学部 教授
理事	勝俣英雄	2007. 6. 1	総務	(株)大林組技術研究所 構造技 術研究部 部長
同	犬飼伴幸	2008. 6. 1*	総務	(株)竹中工務店技術研究所建 設技術開発部 研究主任
同	鈴木康嗣	2007. 6. 1	総務会計	鹿島建設(株)技術研究所都市防 災・風環境グループ 上席研究員
同	佐藤清隆	2008. 6. 1*	会計	(財)電力中央研究所地球工学研 究所領域リーダー 上席研究員
同	柏崎昭宏	2007. 6. 1	会員	(株) I H I 技術開発本部 管理部 部長
同	金子美香	2008. 6. 1*	会員	清水建設(株)技術研究所 主 任研究員
同	吉田郁政	2007. 6. 1	学術	武蔵工業大学工学部 教授
同	笠井和彦	2007. 6. 1	学術	東京工業大学建築物理研究セン ター 教授
同	志波由紀夫	2007. 6. 1	情報	大成建設 (株) 技術センター土 木技術研究所 主席研究員
同	大堀道広	2008. 6. 1*	情報	海洋研究開発機構海洋工学セン ター 技術研究主任
同	中村英孝	2008. 6. 1*	事業	(独)原子力安全基盤機構耐震 安全部 上席研究員
同	源栄正人	2007. 6. 1	事業	東北大学大学院工学研究科 教授
同	芳村 学	2008. 6. 1*	事業	首都大学東京大学院都市環境科 学研究科 教授
同	福和伸夫	2008. 6. 1*	事業	名古屋大学大学院環境学研究科 教授
同	三輪 滋	2007. 6. 1	調査研究	飛島建設(株)技術研究所 所長
同	翠川三郎	2008. 6. 1*	調査研究	東京工業大学大学院総合理工学 研究科 教授

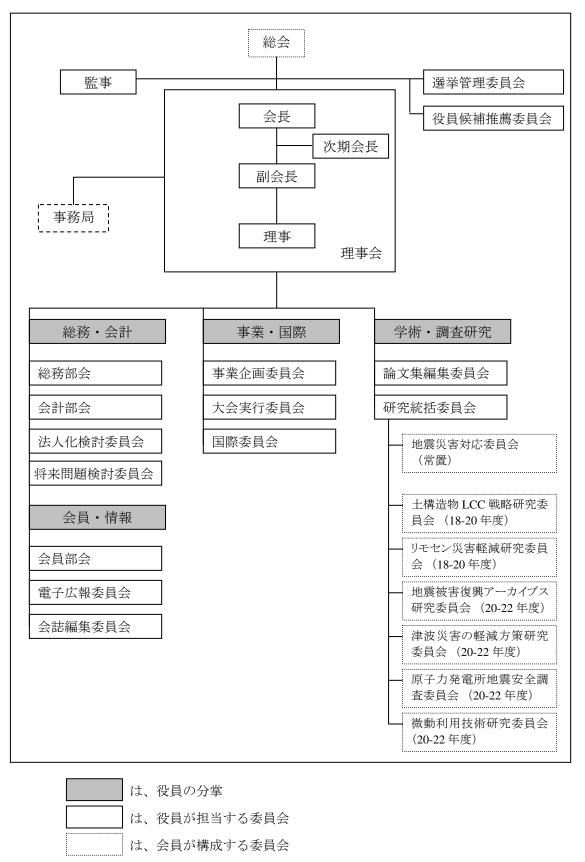
監事

шь 4				
監	事	工藤一嘉	2007. 6. 1	日本大学総合科学研究所 教 授
監	事	高田至郎	2008. 6. 1*	イラン・アザド大学科学研究セ ンター 教授

任期:無印 2007年6月1日~2009年5月31日 * 印 2008年6月1日~2010年5月31日

72 - 36 -

資料3 平成20年度 組織図



73

資料4 平成20年度役員分掌

次期会長	濱田	政則					
第一副会長	(会員・	調査研究)	鈴木	祥之			
					会員理事	柏崎	昭宏(IHI
					会員理事 (選挙管理)	金子	美香 (清水)
					調査研究理事(研究統括・災害)	三輪	滋(飛島建設
					調査研究理事(研究統括・災害)	翠川	三郎(東工大
第二副会長	(学術・	国際・情報)	西谷	章			
					学術理事 (論文集)	吉田	郁政(武蔵Ⅱ
					学術理事 (国際) (*事業理事より変更)	笠井	和彦(東工大
					情報理事(電子広報)	大堀	道広(JAMS
					情報理事 (会誌)	志波	由紀夫(大成
第三副会長	(事業・	10 周年記念事業)	武村	雅之			
					事業理事 (企画事業)	中村	英孝 (JNES)
					事業理事 (年次大会 08)	源栄	正人(東北ナ
					事業理事 (年次大会 09)	芳村	学(首都オ
					事業理事(10周年記念事業) (*新たに設置)	福和	伸夫 (名大)
第四副会長	(総務・	会計)	吉田	望			
					総務理事(運営・選挙管理・役員候補推薦・電子広報)	勝俣	英雄(大林絲
					総務理事(運営・役員候補推薦・法人化)	犬飼	伴幸(竹中コ
					総務会計理事(法人化)	鈴木	康嗣(鹿島類
					会計理事	佐藤	清隆(電中研

監事工藤一嘉監事高田至郎

74

資料5 平成20年度 委員会委員

(平成21年3月31日現在)

選挙管理委員会

委員長 金子美香(理事、清水建設)

委員 池浦友則 (鹿島建設)、勝俣英雄 (理事、大林組)、日比野浩 (大成建設)、

(任期:平成20年6月1日~平成21年5月31日)

役員候補推薦委員会

委員長 犬飼伴幸(理事、竹中工務店)

委員 岩田秀治 (東海旅客鉄道)、勝俣英雄 (理事、大林組)、

楠浩一(横浜国立大学)、年縄巧(明星大学)、飛田潤(名古屋大学)、

林康裕(京都大学)、松岡昌志(産業技術総合研究所)、

(任期:平成19年6月1日~平成21年5月31日)

一井康二(広島大学)、大友敬三(電力中央研究所)、植竹富一(東京電力)、

小林信之(青山学院大学)、小路泰広(国土技術政策総合研究所)、

西田哲也(秋田県立大学)、原田隆典(宮崎大学)、諸井孝文(鹿島建設)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

法人化検討委員会

委員長 鈴木康嗣(理事、鹿島建設)

(任期:平成19年8月1日~平成21年5月31日)

副委員長 犬飼伴幸(理事、竹中工務店)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

委員 石川裕(清水建設)、勝俣英雄(理事、大林組)、

小長井一男(東京大学)、小林信之(青山学院大学)、

坂本成弘(大成建設)、鈴木祥之(副会長、京都大学)

(任期:平成19年8月1日~平成21年5月31日)

佐藤清隆(理事、電力中央研究所)、吉田望(副会長、東北学院大学)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

将来問題検討委員会

委員長 鈴木浩平(会長、首都大学東京)

副委員長 濱田政則(次期会長、早稲田大学)

75 - 39 -

委員 大町達夫(東京工業大学)、勝俣英雄(理事、大林組)、

川島一彦(東京工業大学)、久保哲夫(東京大学)、後藤洋三(富士常葉大学)、

小長井一男 (東京大学)、鈴木康嗣 (理事、鹿島建設)、

鈴木祥之(副会長、京都大学)、塩原等(東京大学)、

武村雅之(副会長、鹿島建設)、西谷章(副会長、早稲田大学)、

福和伸夫(理事、名古屋大学)、安田進(東京電機大学)、

吉田望(副会長、東北学院大学)

(任期:平成20年10月1日~平成21年5月31日)

オブザーバー 犬飼伴幸(竹中工務店)、鴫原毅(日本地震工学会)

電子広報委員会

委員長 大堀道広(海洋研究開発機構)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

委員 新井 洋(建築研究所)、小野祐輔(京都大学)、勝俣英雄(理事、大林組)、 神野達夫(広島大学)、塩原等(東京大学)、武村雅之(副会長、鹿島建設)、 藤井賢志(千葉工業大学)、古屋治(東京都立産業技術高等専門学校)、

丸山喜久(千葉大学)、盛川仁(東京工業大学)、

吉田望(副会長、東北学院大学)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

会誌編集委員会

委員長 志波由紀夫(理事、大成建設)

(任期:平成19年6月1日~平成21年5月31日)

副委員長 大保直人(鹿島建設)

幹事 上半文昭(鉄道総合技術研究所)

(任期:平成19年6月1日~平成21年3月31日)

大原美保(東京大学)

(任期:平成19年6月1日~平成21年5月31日)

(任期:平成21年6月1日~平成22年3月31日)

委員 五十田博(信州大学)、境有紀(筑波大学)、西山誠治(日建設計シビル)、 藤本滋(湘南工科大学)、三宅弘恵(東京大学)

(任期:平成19年6月1日~平成21年3月31日)

青木 繁(東京都立産業技術高等専門学校)、佐藤 清(大林組)、

森川信之 (防災科学技術研究所)

(任期:平成20年6月1日~平成22年3月31日)

76 - 40 -

事業企画委員会

委員長 中村英孝(原子力安全基盤機構)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

副委員長 有賀義明(弘前大学)

(任期:平成19年6月1日~平成21年5月31日)

委員 安西綾子(中央復建コンサルタンツ)、大西良広(地域地盤環境研究所)、

福岡淳也(日本技術開発)、古川裕紀(ヤクモ)、

三上藤美 (東邦アーステック)、森崎啓 (パシフィックコンサルタンツ)

(任期:平成19年6月1日~平成21年5月31日)

東知宏 (東京海上日動リスクコンサルティング)

(任期:平成19年12月12日~平成21年5月31日)

張至鎬(清水建設)、古屋治(東京都立産業技術高等専門学校)

(任期:平成20年6月1日~平成21年5月31日)

大原美保(東京大学)、遠藤一郎(大成基礎設計)、

清水秀丸(防災科学技術研究所)、飛田哲男(京都大学)、

一井康二(広島大学)、川久保政茂(円石コンサルタント)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

大会実行委員会(2008)

委員長 源栄正人(理事、東北大学)

(任期:平成20年2月7日~平成21年5月31日)

委員 渦岡良介(東北大学)、大野晋(東北大学)、長田正樹(応用地質)、

風間基樹 (東北大学)、佐藤健 (東北大学)、澤邊浩 (東北電力)、

前田匡樹 (東北大学)、三辻和弥 (東北大学)、吉田望 (東北学院大学)

(任期:平成20年2月7日~平成21年5月31日)

勝俣英雄 (理事、大林組)、犬飼伴幸 (理事、竹中工務店)

(任期:平成20年6月1日~平成21年5月31日)

迫田丈志 (東北大学)、田脇正一 (仙台市)、水口広隆 (宮城県)、

盛川仁(東京工業大学)

(任期:平成20年7月3日~平成21年5月31日)

大会実行委員会(2009)

委員長 芳村学(理事、首都大学東京)

(任期:平成21年2月19日~平成21年3月31日)

幹事 北山和弘(首都大学東京)

77 - 41 -

(任期:平成21年2月19日~平成22年3月31日)

委員 青木繁(都立産業技術工業高専)、秋田知芳(千葉大学)

和泉信之(千葉大学)、市古太郎(首都大学東京)、小田義也(首都大学東京)、

鹿嶋俊英(建築研究所)、高木次郎(首都大学東京)、

長島文雄(首都大学東京)、中林一樹(首都大学東京)、

中村孝也(首都大学東京)、見波進(首都大学東京)、

山村一繁(首都大学東京)

(任期:平成21年2月19日~平成22年3月31日)

国際委員会

委員長 笠井和彦(理事、東京工業大学)

(任期:平成19年12月12日~平成21年5月31日)

委員 壁谷澤寿海(理事、東京大学)、川島一彦(東京工業大学)、

藤田聡(東京電機大学)、緑川光正(北海道大学)、山崎文雄(千葉大学)、 横井俊明(建築研究所)

(任期:平成19年12月12日~平成21年5月31日)

斉藤大樹 (建築研究所)、小檜山雅之 (慶応義塾大学)、

安田進 (東京電機大学)

(任期:平成20年2月7日~平成21年5月31日)

論文集編集委員会

委員長 吉田郁政(理事、武蔵工業大学)

(任期:平成20年6月1日~平成21年5月31日)

副委員長 栗田哲(東京理科大学)

(任期:平成19年6月1日~平成21年5月31日)

委員 香川敬生(地域地盤環境研究所)、片岡俊一(弘前大学)、

神田克久(鹿島建設)、紺野克昭(芝浦工業大学)、境有紀(筑波大学)、

佐藤智美(清水建設)、庄司学(筑波大学)、林康裕(京都大学)、

樋口俊一(大林組)、松岡昌志(産業技術総合研究所)、

村上正浩 (工学院大学)、盛川仁 (東京工業大学)

(任期:平成19年6月1日~平成21年5月31日)

伊津野和行(立命館大学)、渦岡良介(東北大学)、鹿島俊英(建築研究所)、 久田嘉章(工学院大学)、渡邉鉄也(埼玉大学)

(任期:平成20年6月1日~平成21年5月31日)

78 - 42 -

研究統括委員会

委員長 鈴木祥之(副会長、立命館大学)

(任期:平成20年6月1日~平成21年5月31日)

委員 三輪滋 (理事、飛島建設)、吉田郁政 (理事、武蔵工業大学)

(任期:平成19年6月1日~平成21年5月31日)

翠川三郎 (理事、東京工業大学)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

地震災害対応委員会 (常置)

委員長 中埜良昭(東京大学)

(任期:平成20年6月1日~平成23年5月31日)

副委員長 清野純史(京都大学)

(任期:平成20年6月1日~平成23年5月31日)

委員 小長井一男(東京大学)

(任期:平成20年6月1日~平成23年5月31日)

三輪滋 (理事、飛島建設)

(任期:平成20年6月1日~平成21年5月31日)

翠川三郎 (理事、東京工業大学)

(任期:平成20年6月1日~平成22年5月31日)

土構造物におけるライフサイクルコスト戦略の研究委員会

(平成18年6月1日~平成21年5月31日)

委員長 東畑郁牛 (東京大学)

委員 佐藤正行(東電設計)、吉田郁政(武蔵工業大学)、谷茂(農村工学研究所)、 森伸一郎(愛媛大学)、大野康年(東亜建設)、飛田哲男(京都大学)

> (任期:平成18年6月1日~平成20年5月31日) (任期:平成20年6月1日~平成21年5月31日)

リモートセンシング技術を用いた災害軽減に関する研究委員会

(平成18年9月1日~平成20年8月31日)

(平成20年9月1日~平成21年3月31日)

委員長 山崎文雄(千葉大学)

副委員長 翠川三郎(東京工業大学)

79 - 43 -

幹事 松岡昌志 (産業技術総合研究所)

委員 清野純史(京都大学)、越村俊一(東北大学)、高島正典(富士常葉大学)、

中井正一(千葉大学)、丸山喜久(千葉大学)、三浦弘之(東京工業大学)、

村尾修(筑波大学)、庄司学(筑波大学)、能島暢呂(岐阜大学)

(任期:平成18年9月1日~平成20年8月31日)

(任期:平成20年9月1日~平成21年3月31日)

地震被害・復興の記録のアーカイブス構築のための研究委員会

(平成20年6月1日~平成23年5月31日)

委員長 小長井一男(東京大学)

幹事

委員 池田隆明 (飛島建設)、アイダン オメル (東海大学)、

高梨和光 (清水建設)、武村雅之 (鹿島建設)、中埜良昭 (東京大学)、

三輪滋(飛島建設)、安田進(東京電機大学)、若松加寿江(関東学院大学)

(任期:平成20年6月1日~平成23年5月31日)

オブザーバー 工藤一嘉(日本大学)、嶋直子(エヌ・ワイ・ケイ)

津波災害の実務的な軽減方策に関する研究委員会

(平成20年6月1日~平成23年5月31日)

委員長 松冨英夫(秋田大学)

幹事 有川太郎(港湾空港技術研究所)

委員 石川忠志(鹿島建設)、今村文彦(東北大学)、運上茂樹(土木研究所)、

奥田泰雄(建築研究所)、佐藤勝弘(アルファ水エコンサルタンツ)、

小路泰広(国土技術政策総合研究所)、高梨和光(清水建設)、

玉田 崇(いであ株式会社)、中埜良昭(東京大学)、

中山哲嚴(水産総合研究センター)、藤間功司(防衛大学校)、

(任期:平成20年6月1日~平成23年5月31日)

原子力発電所の地震安全問題に関する調査研究委員会

(平成20年10月1日~平成23年3月31日)

委員長 亀田弘行(京都大学名誉教授)

副委員長 高田毅士(東京大学)

幹事中村英孝(原子力安全基盤機構)、日比野憲太(原子力安全基盤機構)

委員 石川裕(清水建設)、今塚善勝(大林組)、香川敬生(鳥取大学)、

鈴木浩平(首都大学東京)、中村晋(日本大学)、藤田聡(東京電機大学)、

80 - 44 -

藤原広行(防災科学技術研究所)

(任期:平成20年10月1日~平成23年3月31日)

秋山伸一(伊藤忠テクノソリューションズ)、有賀義明(弘前大学)、

落合兼寛(日本原子力技術協会)、小泉孝之(同志社大学)、

小林正典(ABS Consulting)、中島正人(電力中央研究所)、

伯野元彦(攻玉社工科短期大学)、村上通章(構造計画研究所)、

安中正 (東電設計)、吉田郁政 (武蔵工業大学)、吉田望 (東北学院大学)

(任期:平成20年10月1日~平成23年3月31日)

菊地優(北海道大学)

(任期:平成21年2月5日~平成23年3月31日)

オブザーバー 尾之内厚志(中部電力)、菊池利喜郎(東京電力)、中村隆夫(関西電力)

微動利用技術研究委員会

(平成21年1月1日~平成23年5月31日)

委員長 森伸一郎 (愛媛大学)

副委員長 盛川仁(東京工業大学)

委員 新井洋(建築研究所)、上林宏敏(大阪工業大学)、

和仁晋哉(中央復建コンサルタンツ)、片岡俊一(弘前大学)、

紺野克昭(芝浦工業大学)、斉藤知生(清水建設)、

佐藤勉(システムアンドデータリサーチ)、末冨岩雄(日本技術開発)、

高井伸雄(北海道大学)、長郁夫(産業技術総合研究所)、年縄巧(明星大学)、

飛田潤(名古屋大学)、中村充(大林組)、林宏一(応用地質)、

林康裕(京都大学)、原田隆典(宮崎大学)、

バンダリ、ネトラ・プラカシュ (愛媛大学)、古川愛子 (九州大学)、

三上藤美 (東邦アーステック)、宮腰研 (地域地盤環境研究所)、

森井雄史(京都大学)、矢部正明(長大)、保井美敏(戸田建設)、

山田雅行 (ニュージェック)、山中浩明 (東京工業大学)、山本英和 (岩手大学)、

横井俊明 (建築研究所)

(任期:平成21年2月5日~平成23年5月31日)

81 - 45 -